

令和 3 年度

むつ市教育委員会の事務の 点検及び評価に関する報告書

－ 令和 2 年度の実績 －



むつ市教育委員会

まえがき

おつ市教育委員会では、平成28年11月に「おつ市教育大綱」を策定し、【1 学力の向上】、【2 体育・健康教育の充実】、【3 夢を育む教育】、【4 地域とともにある学校】の4つの柱を機軸に据えて、おつ市の子供たちの未来のために各種教育施策の充実に努めております。

こうした取組は、様々な機会を通じて市民の皆様にお知らせしてきておりますが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされております。

おつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的に、外部の学識経験者などから意見を伺いながら、実施事業の内容を充実させ、着実におつ市の教育を向上させることができるよう事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

市民の皆様には、この報告書を御覧いただき、おつ市の教育とおつ市教育委員会の取組について、御理解を深めていただければ幸いです。

おつ市教育委員会では、今後も、おつ市教育大綱事業実施計画に基づき教育施策の推進に努めてまいりますので、市民の皆様のお支援と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和3年9月

おつ市教育委員会

目 次

◇まえがき	1
◇点検・評価に当たって	4
◇むつ市教育大綱の概要	6
◇令和2年度 むつ市教育大綱事業実施計画の概要	8
◇むつ市教育大綱における重点項目ごとの取組への評価	10
◇具体的な取組の点検・評価	
1 総務課	
(1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備	11
(2) 教職員の適正・適切な配置	16
(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編	16
(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討	17
(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助	18
(6) コミュニティ・スクール制度の推進	20
(7) 奨学金制度の充実	20
(8) 学校保健の充実	21
(9) 学校給食の充実	25
2 生涯学習課	
(1) 生涯学習の推進	28
(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進	31
(3) 社会教育施設の機能充実	32
(4) 芸術・文化活動の奨励と振興	34
(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用	36
3 学校教育課	
(1) 小中一貫教育の充実	43
(2) 質の高い教育課程の創造	45
(3) 学力向上対策の充実	46
(4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化	49
(5) 特別支援教育体制の充実	50
(6) 教育相談活動の充実	52
(7) 国際化に対応する教育と、郷土に対する 愛着と誇りを涵養する教育の推進	54
(8) 教育研修センター講座等の充実	57
(9) 弘前大学との連携強化	58
(10) キャリア教育の充実	60

4 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）	
（1）公民館の適正管理と運営の充実	6 3
（2）公民館事業の推進	6 5
（3）社会教育団体等の育成支援	6 9
（4）生涯学習関連施設等との連携促進	7 2
（5）視聴覚ライブラリーの活用	7 5
5 図書館	
（1）資料の収集・保存と活用	7 6
（2）図書館サービス活動の充実	7 8
（3）子どもの読書活動の推進	8 2
◇点検・評価対象一覧	8 5

◇点検・評価に当たって

1 経緯

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され（平成20年4月施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

この法律改正を受け、むつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2 点検・評価の方法

(1) むつ市教育施策の方針

むつ市教育委員会では、「むつ市教育大綱事業実施計画」を定めるとともに、毎年度、各所属における重点項目を定め、具体的な取組（事業）を実施しています。

(2) 点検・評価の対象

令和2年度の点検・評価に当たっては、各所属における重点項目を推進するため、令和2年度に実施した具体的な取組を点検し、その結果を踏まえ、事業ごとに自己評価を行い、各所属における重点項目を総括評価しました。

(3) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため「点検・評価アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等からなる「点検・評価アドバイザー」に参集いただいた上で、その実施方法や内容について意見をいただき、報告書の作成を行ってまいりましたが、今年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事前に配布した報告書（案）に対する助言・指導を書面によりいただく形で作成しました

なお、いただいた意見のほとんどは報告書に反映させておりますが、今年度反映できなかった一部の意見については、来年度以降、引き続き検討を行うこととしています。

3 報告書の構成

(1) むつ市教育大綱の重点目標ごとの総括評価は、当該目標における各事業の成果や評価を総括しています。

(2) 全体構成

報告書は「1 総務課」、「2 生涯学習課」、「3 学校教育課」、「4 公民館」、「5 図書館」の施策ごとに構成しています。

(3) 重点項目の点検（令和2年度の具体的な取組状況）

重点項目を推進するための具体的な取組状況について、個々の事業が適切に実施されているかどうか、その概要・計画・実績を点検しています。

(4) 具体的な取組（事業）の評価（点検結果を踏まえた評価）

具体的な取組状況の点検結果を踏まえ評価し、課題と今後の方針を提示しています。

～ 点検・評価アドバイザー会議の概要 ～

◆令和3年度点検・評価アドバイザー

氏名	団体・役職
大見 竜人	むつ市連合PTA会長
北村 昭彦	元大平小学校長
古川 俊子	元むつ市教育部長

(50音順、敬称略)

◆点検・評価アドバイザー会議の開催状況

・第1回点検・評価アドバイザー会議（書面開催）

- 〈内容〉
- ・教育委員会の事務の点検及び評価の概要について
 - ・点検及び評価の実施方法に関する意見について
 - ・質疑等に対する回答担当課：総務課、生涯学習課、学校教育課、公民館、図書館

◆アドバイザーからの主な意見

〈点検・評価の実施、報告書の作成に反映させた主な意見〉

- ・教育大綱の重点目標ごとの取組への評価及び各所属に重点項目の総括評価を記載したことで、大枠で評価・課題等が見やすくなりました。
- ・字句、文章の言い回し、表現等の修正、字の大きさ等を統一した方が良い。
- ・事業毎に評価欄を設け自己評価を記載した事で、分かりやすくなりました。

〈次年度以降、引き続き検討することとした主な意見〉

- ・各事業の記載において、予算・決算欄を見直し、総額のみでの表示が良いのではないか。
 - ・評価欄に課題や今後の方針が混在しているものが見受けられるため、多少の重複記述は良いと思うが、曖昧にせず、中身を整理し、評価として理解しやすい表現にすべきである。
 - ・事業開催の市民への周知方法にSNS等を活用してはどうか。
 - ・点検・評価対象一覧のレイアウト（文字ポイント、センタリング等）の変更を検討してはどうか。
- その他、教育行政全般にわたり、適切な指導・助言をいただいた。

参考

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

- 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

◇むつ市教育大綱の概要

1 学力の向上

① 明確な目標設定

「むつ市教育プラン」に具体的な数値目標を定め、P D C Aを着実に実践します。

② 主体的な学習の推進

「主体的・対話的で深い学び」（アクティブラーニング）の視点で多様な学習活動に取り組みます。

③ 教育環境の整備

校舎の長寿命化を図り、施設の維持・整備を進め、全ての子供たちにとって快適な学習環境の整備に努めます。

④ 教職員の資質向上

新たな課題にも適切に対応できる力量を持った教職員が、チームとして子供たちの成長や発達を支援できるよう、学校内外での研修体制の整備・充実に努めます。

⑤ 幼保小連携

幼児教育、義務教育の相互理解を深め、充実した幼児教育につなげていきます。

2 体育・健康教育の充実

① 健康な体を育む学校づくり

健康についての正しい知識を身に付けさせ、自ら健康な生活を実践する能力や態度を育てます。

② 安全・防災教育の推進

起こり得る危険を理解し、いかなる状況においても、子供たちが自ら安全に関する情報を正しく判断し、安全に行動できるような資質・能力を育てます。

③ スポーツ環境整備

子供たちがスポーツに親しむ環境を充実させるとともに、スポーツを通じて子供たちの夢を育てていきます。

3 夢を育む教育

① 学力の保障を通じた生きる力の育成

子供一人一人の良さや可能性を引き出す教育の充実に努め、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、学んだことを自分の人生や社会に生かそうとする豊かな人間性を育てていきます。

② キャリア教育の充実

自分の生き方について自覚を深め、急速な社会の変化に適切に対応するため、キャリア教育のさらなる充実に努めます。

③ 特別支援教育の充実

個々の状態に応じたきめ細かい指導・支援を更に充実させるとともに、進路に関する必要な情報を提供するなど教育相談体制の充実に努めていきます。

④ 豊かな心の育成

他者への思いやりなど豊かな心の育成に努めるとともに、子供たちがいじめについて自ら考える機会を提供し、学校でのいじめ防止に向けて不断の取組を続けます。

4 地域とともにある学校

① 家庭・地域との連携強化

家庭や地域からの声を学校経営に反映させるよう努め、「開かれた学校づくり」「地域とともにある学校」を目指していきます。

② 多様な学習機会の提供

変化する市民のニーズを的確に捉えた上で実施事業を整理し、市民が生涯を通じて学んでいくために、真に必要とされる学習機会の提供に努めていきます。

③ 廃校校舎の利活用

「むつ市公共施設等総合管理計画」の趣旨に留意しながら、その利活用と解体を計画的に進めていきます。

④ ふるさとむつ市への愛着と誇りを育む教育

文化財、伝統芸能などの地域資源について学び、知識を得ることができるよう学習機会の提供を推進します。

◇令和２年度 むつ市教育大綱事業実施計画の概要

この「むつ市教育大綱事業実施計画」は、「むつ市教育大綱」に示した理念を実現するために、大綱の趣旨に沿って教育委員会で実施する事業の具体的な実施計画となります。また、子供たちを育む家庭、学校、地域社会に期待される役割を明らかにし、事業を計画・実施するための基本的な指針としていきます。

計画には、各所属において毎年度の予算に基づき実施する事業を明記し、当該年度において着実に実施するとともに、実施した事業について毎年度検証及び評価を行い、子供たちにとってよりよい施策となるよう努めるものとします。

【各所属における重点項目】

1 総務課

子供が豊かな心をもち、自ら学び、自ら考える力など「生きる力」を育成するための教育環境の整備を推進する。また、活力ある学校教育を推進するため、教職員の適切な配置を図るとともに、その他教育環境の整備と保健衛生及び学校給食の充実を図る。

- (1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備
- (2) 教職員の適正・適切な配置
- (3) 通学区域制度の適切な運用及び再編
- (4) 学校規模の適正化に係る研究・検討
- (5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助
- (6) コミュニティ・スクール制度の推進
- (7) 奨学金制度の充実
- (8) 学校保健の充実
- (9) 学校給食の充実

2 生涯学習課

市民の皆様が生涯にわたって、自己の能力と可能性を最大限に高め、多くの人々と協働し、生きがいのある充実した生活を送り、豊かで住みよい地域社会をつくり出すことができるように「いつでも・どこでも・だれでも」学習できる環境の充実と、学びを活かした社会参加活動を支援していく。

また、地域に根ざした民俗芸能・伝統文化の継承活動を支援するとともに、自主的かつ主体的な芸術文化活動を推進する。併せて、文化財の保護・保存と活用に努める。

- (1) 生涯学習の推進
- (2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進
- (3) 社会教育施設の機能充実
- (4) 芸術・文化活動の奨励と振興
- (5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

3 学校教育課

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成するために、校長の強力なリーダーシップのもと、「教育は人づくり」という視点に立ち、全教職員が協働して特色ある学校運営を図り、「郷土に根ざし、生きる力と夢をはぐくむ」学校教育の推進に努める。

- (1) 小中一貫教育の充実
- (2) 質の高い教育課程の創造
- (3) 学力向上対策の充実
- (4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化
- (5) 特別支援教育体制の充実
- (6) 教育相談活動の充実
- (7) 国際化に対応する教育と、郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- (8) 教育研修センター講座等の充実
- (9) 弘前大学との連携強化
- (10) キャリア教育の充実

4 公民館(中央、川内、大畑、脇野沢)

市民に最も身近な生涯学習施設として、学習活動の支援や豊かな地域づくり・人づくりのため、公民館活動の充実に努める。

- (1) 公民館の適正管理と運営の充実
- (2) 公民館事業の推進
- (3) 社会教育団体等の育成支援
- (4) 生涯学習関連施設等との連携促進
- (5) 視聴覚ライブラリーの活用

5 図書館

市民の多様化する学習意欲に応えるための施設として、快適な読書環境の保全に努めるとともに、多種多様な資料や情報等の積極的な収集・整備による読書活動の拠点として図書館機能の充実に図り、地域の教育・文化の向上発展に寄与する。

- (1) 資料の収集・保存と活用
- (2) 図書館サービス活動の充実
- (3) 子どもの読書活動の推進

◇むつ市教育大綱における重点目標ごとの取組への評価

1 学力の向上

■ 総括評価 ■

一部事業が新型コロナウイルス感染症拡大防止による学校休業のため、実施されませんでした。概ね目標を達成出来ました。

主体的な学習の推進においては全小中学校において、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に係る研究授業が行われ、目標を達成しました。

教育環境の整備においては、GIGAスクール構想に係る端末購入やネットワーク整備を進め、小学4年生から中学3年生までの端末を整備し、今後順次整備を進めていきます。

2 体育・健康教育の充実

■ 総括評価 ■

一部目標に届かない事業がありましたが、今後も学校、家庭と連携して事業を推進してまいります。

健康教育の実施により、肥満傾向児の減少が進んでいましたが、令和2年度においては増加に転じたことから、家庭への啓発・連携を一層進めていきます。

安全・防災教育については、全小中学校で学校危機管理マニュアルの見直しが行われており、今後も、防犯・防災・交通安全の視点で関係機関等との情報共有を継続し、安全・防災教育の推進に努めます。

3 夢を育む教育

■ 総括評価 ■

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、目標を達成出来なかった事業がありましたが、実施した事業では、概ね目標を達成出来ました。自己肯定感に関する調査では、全国平均を上回る結果となりましたが、一部前年度を下回る項目もあったため、引き続き育成に努めていきます。豊かな心の育成では、児童生徒の学校環境適応度を測る検査を全校で実施して一人一人の状態の把握に努めるとともに、各学年、学校全体で情報共有し、全教員でより良い支援が出来る体制作りを行いました。

4 地域とともにある学校

■ 総括評価 ■

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止や縮小により目標に届かない事業がありました。コロナ禍でも感染対策を十分行い目標達成に向け事業を展開してまいります。

家庭・地域との連携において、コミュニティスクールは全校設置し目標を達成、放課後子ども教室は、設置数は増えており、地域性を考慮して取組を進めました。多様な学習機会の提供は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を縮小したことから、利用者数は前年比で大きな落ち込みとなりましたが、感染予防対策を講じて開催することが出来ました。むつ市への愛着と誇りを育む教育として、ジオパーク活動を推進し、児童生徒が各ジオサイトの見学、出前講座等を通じて学んだ成果を下北ジオパーク学習発表会等で発表しました。

◇具体的な取組の点検・評価

1 総務課

■ 重点項目の点検（令和2年度の具体的な取組状況） ■

（1）安全・安心で夢を育む教育環境の整備

事業名		スクールバス運行管理事業	
概要	学校統合により徒歩での通学が困難な児童生徒の安全な輸送を行うため、スクールバスの運行を行う。		
計画	<p>○下記地区から通学する児童生徒の安全な輸送を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関根地区（烏沢） ・奥内地区（大室平・金谷沢・中野沢） ・大湊地区（角違・城ヶ沢） ・川内地区（戸沢・蛸崎・湯野川） ・大畑地区（小目名・釣屋浜） ・脇野沢地区（源藤城・九艘泊・小沢） <p>※計画人数：190人</p>	実績	<p>○運行時の事故もなく、安全に輸送を行うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関根地区：30人 ・奥内地区：21人 ・大湊地区：25人 ・川内地区：52人 ・大畑地区：35人 ・脇野沢地区：15人 <p>合計：178人</p>
予算	<p>予算総額 93,465,000 円</p> <p>(内訳) バス委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> 関根地区 7,499,000 円 奥内地区 16,192,000 円 大湊地区 11,739,000 円 川内地区 26,394,000 円 大畑地区 15,333,000 円 脇野沢地区 16,308,000 円 	決算	<p>決算総額 92,558,400 円</p> <p>(内訳) バス委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> 関根地区 7,494,960 円 奥内地区 16,005,000 円 大湊地区 11,485,320 円 川内地区 26,565,000 円 大畑地区 15,333,120 円 脇野沢地区 15,675,000 円
評価	対象地区に居住している児童生徒のフォローに対しては確実に対応出来ている。しかしながら、対象区域外の児童生徒（例大湊小学校路線における桜木町住民）等の要望には応えられていない状態にある。		
課題	<p>感染症等の対策に向けた各事業者への対応依頼を徹底する。</p> <p>令和3年度をもって活用している補助金の交付期限が終了するため、財源確保を検討する必要がある。</p>	今後の方針	<p>児童生徒の減少に伴うバス停留所の適正配置について検討する。</p> <p>二枚橋小学校閉校による大畑地区における路線拡張に向けて、適正な路線の計画を検討する。</p>

※参考：スクールバス運行経路

地区	運行区間	地区	運行区間
関根地区	烏沢～川代～関根小	大畑地区	小目名～関根橋～正津川～大畑小～大畑中
奥内地区	大室平～金谷沢～奥内小～近川中 中野沢～近川中～奥内小		釣屋浜～孫次郎間～大畑中
大湊地区	大川目～角違～大湊中～大湊小	脇野沢地区	源藤城～滝山～脇野沢小・中
川内地区	戸沢～田野沢～川内小・中 蛸崎～宿野部～川内小・中 湯野川～安部城～川内小・中		九艘泊～寄浪～脇野沢小・中 小沢～稲平～脇野沢小・中

事業名		スクールバス購入事業	
概要	「脇野沢源藤城方面」のスクールバスについて、業者所有のバスに経年劣化が見られること、及びバスを市有車とすることに伴う運行管理業務委託料の削減を目的として、新規の車両を購入するものである。		
計画	スクールバス 1 台の購入	実績・成果	スクールバス 1 台の購入
予算	予算総額 4,186,000 円 (内訳) 保険料 17,000 円 手数料 64,000 円 購入費 4,088,000 円 公課費 17,000 円	決算	決算総額 3,242,320 円 (内訳) 保険料 13,640 円 手数料 44,280 円 購入費 3,168,000 円 公課費 16,400 円
評価	運行管理業務委託料の削減に対する効果は令和 3 年度以降現れることとなり、購入費を 5 年程度で回収する見込みであるため、経年劣化に伴う補修費等を考慮した場合、適切な事務の実施と判断する。		
課題	他地区において運用しているスクールバスにおいても同様の対応が必要になる時期が訪れることが想定されるので、状況を注視していく必要がある。	今後の方針	統廃合に併せ、スクールバスの運行経路を含め、総合的に勘案し、必要があれば購入を検討する。

事業名		新入学児童用防犯ブザー購入事業	
概要	令和 3 年度新入学児童に対し、就学時における安全を確保するため、防犯ブザーを配布する。		
計画	○令和 3 年度新入学児童に児童用防犯ブザーを購入し、配布する。	実績・成果	○(株)青森テレビ様より防犯ブザー(じん子ちゃんブザー)370個を寄贈いただいたため、全小学 1 年生348名への配布のみ行った。
予算	予算総額 274,000 円 (内訳) 購入費 274,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 購入費 0 円
評価	防犯ブザーの配布により、新入学児童の安全確保の一助となっている。		
課題	なし	今後の方針	令和元年度より寄贈での事業実施となっており、令和 4 年度財務査定の結果、今後の予算化を見送ることとなった。

事業名		まさかり高校医学部進学・特進コース事業	
概要	むつ下北地域の学力向上と医師不足解消を目的として、むつ下北活性化応援プロジェクトである「まさかり高校」の中に医学部進学・特進コースを開設し、医師や国立大学等選抜制の高い大学への進学を希望する高校生を対象に、大手予備校講師を招聘し、難関大学合格に向けた、レベルの高い学習の場を提供する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○予備校講師派遣プログラム（5回） 夏期：40人 受験直前期：20人 冬期：20人 2次試験対応：20人 春期：40人 ○東京大学見学ツアー：20人 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○予備校講師派遣プログラム（1回） 夏期：中止 受験直前期：中止 冬期：中止 2次試験対応：中止 春期：35人（リモート） ○東京大学見学ツアー：中止 ○北海道大学ほか国公立大学へ18名合格 （講習会等参加経験者・令和2年度卒業生実績）
予算	予算総額 5,419,000 円 （内訳） 報 償 費 0 円 旅 費 136,000 円 需 用 費 0 円 委 託 料 5,283,000 円	決算	決算総額 545,660 円 （内訳） 報 償 費 0 円 旅 費 0 円 需 用 費 0 円 委 託 料 545,660 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リモート形式による開催環境が整備されるまでの期間については事業の中止を余儀なくされたものの、リモート形式により開催した春期講習会受講生の約91%が実力養成に効果的である、また、約97%が次回の講習会に参加したいとの回答があるなど高い評価を受けている。また、当該事業に参加実績のある令和2年度卒業生の進学実績等を踏まえれば、一定の受講生の支援につながっているものと考えている。		
課題	コロナ禍に対応しながら成果を挙げていくために、リモート形式による講習会の実施などといった新たな対応が求められている。	今後の方針	これまでの継続した取組等により、高等学校の理解と協力は得られているものの、新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況を踏まえながら、受験生の学力向上と受験対策に関する意識改革が図られるよう、さらなる事業内容の充実を目指す。

事業名		下北Project（学びのイノベーション）事業	
概要	東京大学との連携を主軸とし、3つのキーワード「下北から東大へ」・「下北からプロ選手」・「下北からベンチャー」の実現という下北の狙いと、「研究成果の社会実装」という東京大学の狙い双方を掛け合わせ、「学びのイノベーション」を起こす。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○「下北から東大」 ・東大生を当市に派遣してもらい小中学生に対し、勉強法の指導等を実施 ○「下北からプロ選手」 ・東京大学の特任研究員である桑田真澄氏による指導者講習会、野球教室等の実施 ○「下北からベンチャー」 ・起業創業に関わる者を招いての後援会等の実施 ○「ドリームゼミナール」 ・NHK交響楽団を講師として、下北ジュニアウインドオーケストラへの指導を実施 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○「下北から東大」 ○「下北からプロ選手」 ○「下北からベンチャー」 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施見送り ○「ドリームゼミナール」 ・リモートによる指導を計5回実施 ・延べ参加人数 182名参加
予算	予算総額 23,000,000 円 （内訳） 負 担 金 23,000,000 円	決算	決算総額 23,000,000 円 （内訳） 負 担 金 23,000,000 円

評価	当初計画していた事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見送り、ドリームゼミナールについてはリモートによる指導を実施した。		
課題	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の実施が困難であった。 リモート会議環境整備を行ったため、令和3年度においては可能な範囲からリモートでの事業構築を進める。	今後の方針	リモートに視点を置きつつ事業の実施を模索する。 「距離」という下北における一番のハードルを取り払った状態で事業の実施が可能となるために当該メリットを最大限に活かした取組を検討する。

事業名		ICTを活用した教育研究事業	
概要	指導要領が、小学校は令和2年度から、中学校は令和3年度から新指導要領となり、その中で、小学校はプログラミング教育が「必修」、中学校は技術において「内容を充実」をすることとなったことから、ハードウェアを伴うプログラミング教材を導入する。		
計画	○令和2年度 ・小学校プログラミング教材購入 ○令和3年度以降 ・中学校プログラミング教材購入	実績・成果	○以下の理由により、購入を中止。 ・理科教育整備費等補助金を活用する前提だったが、購入を検討していた教材が補助の対象外であることが判明したため。 ・同年度にGIGAスクール環境が整備され、プログラミング教材の必要性について再度精査する必要があるため。
予算	予算総額 7,775,000 円 (内訳) 備品購入費 7,775,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 備品購入費 0 円
評価	事業を中止したため、評価できない。		
課題	令和2年度にGIGAスクール環境が整備された状況で、あらためてハードウェアを伴うプログラミング教材の必要性について精査が必要である。	今後の方針	ハードウェアを伴うプログラミング教材の必要性について精査する。 必要である場合は、教材の選定も行う。



GIGAスクール構想で配付した端末

事業名		その他小中学校の施設・設備の整備事業（1）	
概要	文部科学省のG I G Aスクール構想における高速大容量の校内通信ネットワークを整備する。		
計画	令和2年度 ○市内小中学校21校の普通教室・特別支援教室・職員室及びむつ市役所本庁舎にネットワークを整備 ○令和3年度末に閉校となる二枚橋小学校にモバイルルーターを整備	実績・成果	令和2年度 ○市内小中学校21校の普通教室・特別支援教室・職員室及びむつ市役所本庁舎にネットワークを整備 ○二枚橋小学校にモバイルルーターを整備
予算	予算総額 203,465,000 円 (内訳) 役務費 79,000 円 委託料 203,386,000 円	決算	決算総額 193,387,066 円 (内訳) 役務費 40,154 円 委託料 193,346,912 円
評価	計画のとおり整備でき、問題なくネットワークが利用できている。 機器の設置場所等について学校現場で随時調整し、可能な範囲で各学校の要望を踏まえ整備することができたが、学校側の業務負担は増加した。		
課題	障害発生時や、進級等により学級の数や位置が変わった際の対応。	今後の方針	ネットワーク整備業者と保守契約を結び、ネットワークが安定的に利用できるよう努める。

事業名		その他小中学校の施設・設備の整備事業（2）	
概要	文部科学省のG I G Aスクール構想における児童生徒1人1台端末を整備する。		
計画	○令和2年度 小学4年生～中学3年生分 計3,066台購入 ○令和3年度 小学3年生分 計471台購入 ○令和4年度 小学2年生分 計468台購入 小学1年生にパソコン教室の端末配布	実績・成果	○令和2年度 小学4年生～中学3年生分 計3,066台購入
予算	予算総額 160,913,000 円 (内訳) 委託料 2,400,000 円 備品購入費 158,513,000 円	決算	決算総額 159,872,680 円 (内訳) 委託料 2,035,000 円 備品購入費 157,837,680 円
評価	計画のとおり整備でき、問題なく端末が利用できている。 また、端末等の操作研修を教員約50名に対して実施し、基本的な操作や機能について触れさせることができたと考えているが、端末等を使いこなすまでには至らなかった。		
課題	教員が端末等を使いこなすための研修。膨大な端末を管理運用するための体制。端末の経年劣化等による更新に係る費用。	今後の方針	計画のとおり端末を購入・配布し、令和4年度に児童生徒1人1台端末の整備を完了する。

(2) 教職員の適正・適切な配置

事業名		県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理			
概要	より良い環境をつくるため、適正な人事配置を行うとともに、休暇・休職等の服務管理を行う。				
計画	○県の人事異動方針に基づき、適正な人員配置を行う。 ○代替教員の配置を適正に行う。	実績・成果	○人事異動については、概ね適正な配置が行われた。 ○代替教員の配置については、人材が確保できず配置できない学校もあった。		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円
評価	県の指導及び助言等に基づき、概ね適正な配置、管理等がなされているものと考えているが、代替人材の不足等により、一部において定数人員を確保できず、学校に負担が生じている状況にある。				
課題	通常学級において、個別の支援を要する児童生徒に対する、学校からの教員の増員要望に必ずしも応えられていない状況にある。 交通事故及び交通違反が前年度比で減少しているものの、根絶には至っていない(26件→17件)。	今後の方針	引き続き、市のスクールサポーターによる対応の強化に努めていくほか、教科指導のできる教員の増員について、県教委へ要望していく。 引き続き、服務規律確保の徹底について強く指導していく。		

(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編

事業名		むつ市通学区域審議会の設置			
概要	小学校又は中学校に就学する児童生徒の通学区域の適正化を図るため、通学区域の新設又は改廃に関する事項を調査審議し、その結果を答申する。				
計画	○必要に応じて行う	・実績・成果	○なし		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円
評価	現状において審議対象事案がないことから評価できない。				
課題	なし	今後の方針	現在、審議対象がなく、設置されていないが、審議対象が生じた場合設置する。		

(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討

事業名		学校規模適正化のための地域説明会等の開催	
概要	むつ市教育プランに沿ったよりよい教育環境を実現するために、小規模校の統廃合についてPTAや地域住民の理解・協力を得られるよう話し合いの場を設ける。		
計画	○大畑地区の正津川小学校について説明会を開催する。	実績	○保護者・住民説明会 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校行事等も制限されていた状況であったこともあり、不特定の地域住民が集まる説明会を開催することができなかった。
予算	予算額	0 円	決算額
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催できず、評価できない。		
課題	なし	今後の方針	正津川小学校については、保護者、地域とも学校統合について合意に至っていない状況にあり、感染症の状況も踏まえつつ、引き続き、ねばり強く説明していく必要がある。

令和2年度 学校数、学級数、児童・生徒数 R2. 5. 1現在

小学校			中学校		
学校名	学級数	児童数	学校名	学級数	生徒数
第一田名部小	17	364	むつ中	7	166
第二田名部小	19	416	田名部中	23	640
苔生小	21	508	近川中	5	19
第三田名部小	13	249	関根中	3	18
奥内小	5	25	大平中	10	243
関根小	6	54	大湊中	5	46
大平小	18	443	川内中	4	56
大湊小	8	113	大畑中	6	124
川内小	8	105	脇野沢中	3	12
大畑小	11	219			
正津川小	4	14			
二枚橋小	1	2			
脇野沢小	3	12			
	0	0			
計13校	134	2,524	計9校	66	1,324

(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助

事業名		要保護児童生徒援助事業													
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して修学旅行費を給付し就学の援助を図る。(生活保護受給世帯)														
計画	○対象者：15人 ○支給額：930,000円	実績・成果	○対象者：14人 ○支給額：189,221円												
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>930,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 小学生(9名)</td> <td>480,000 円</td> </tr> <tr> <td>中学生(10名)</td> <td>450,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	930,000 円	(内訳) 小学生(9名)	480,000 円	中学生(10名)	450,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>189,221 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 小学生(10名)</td> <td>156,483 円</td> </tr> <tr> <td>中学生(4名)</td> <td>32,738 円</td> </tr> </table>	決算総額	189,221 円	(内訳) 小学生(10名)	156,483 円	中学生(4名)	32,738 円
予算総額	930,000 円														
(内訳) 小学生(9名)	480,000 円														
中学生(10名)	450,000 円														
決算総額	189,221 円														
(内訳) 小学生(10名)	156,483 円														
中学生(4名)	32,738 円														
評価	要保護の世帯へは修学旅行費を援助しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた修学旅行が中止や規模縮小などになったことにより支給額は予定よりも少なくなっている。														
課題	年度途中で要保護対象者となる場合があるため、生活福祉課との連携が必要となる。	今後の方針	引き続き生活福祉課との連携をしっかりと行う。												

事業名		準要保護児童生徒援助事業																									
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して、学用品費等を給付し就学の援助を図る。																										
計画	○対象者：481人 ○支給額：50,870,000円	実績・成果	○対象者：401人 ○支給額：40,181,469円																								
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>50,870,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>9,088,000 円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>5,015,000 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>8,145,000 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>643,000 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>27,979,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	50,870,000 円	(内訳) 学用品費	9,088,000 円	新入学学用品費	5,015,000 円	修学旅行費	8,145,000 円	校外活動費	643,000 円	給食費	27,979,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>40,181,469 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>7,859,964 円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>4,362,000 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>2,091,940 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>38,200 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>25,829,365 円</td> </tr> </table>	決算総額	40,181,469 円	(内訳) 学用品費	7,859,964 円	新入学学用品費	4,362,000 円	修学旅行費	2,091,940 円	校外活動費	38,200 円	給食費	25,829,365 円
予算総額	50,870,000 円																										
(内訳) 学用品費	9,088,000 円																										
新入学学用品費	5,015,000 円																										
修学旅行費	8,145,000 円																										
校外活動費	643,000 円																										
給食費	27,979,000 円																										
決算総額	40,181,469 円																										
(内訳) 学用品費	7,859,964 円																										
新入学学用品費	4,362,000 円																										
修学旅行費	2,091,940 円																										
校外活動費	38,200 円																										
給食費	25,829,365 円																										
評価	準要保護における就学援助費は、修学旅行費において大幅な執行残がある。これは新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた修学旅行が中止や規模縮小などによるものである。																										
課題	認定基準の拡大や支給費目の拡大に対する要望が市民及び市民団体より寄せられているので、経済的な支援が必要な児童生徒に援助するために財務部と協議の上、検討していく必要がある。	今後の方針	支給費目の拡大及び認定基準の緩和などを検討していく。																								

事業名		医療的ケア児童生徒就学支援事業	
概要	医療的ケアを必要とする児童生徒の健康の維持・増進及び安全な学習環境の整備を図るため、訪問看護師の派遣による専門的な処置を行う。		
計画	○対象者：1名 ○事業額：1,229,250円 ・週3日まで @5,550×120日=666,000円 ・週4日以降 @6,550×80日=524,000円 ・延長料金（1日6時間） @5,200×5回=26,000円 ・緊急訪問看護加算 @2,650×5日=13,250円	実績・成果	○対象者：1名（第一田名部小学校 1年） ○事業額：1,128,600円 ・週3日まで @5,550×129日=715,950円 ・週4日以降 @6,550×63日=412,650円
予算	予算総額 1,230,000 円 (内訳) 訪問看護委託料 1,230,000 円	決算	決算総額 1,128,600 円 (内訳) 訪問看護委託料 1,128,600 円 ※決算総額のうち292,000円は国補助額
評価	対象児童の登校日に加え、遠足等の校外活動を行う日にも訪問看護を実施することで、安心して児童を参加させることができたことと保護者から感謝の声をいただいた。 保護者・主治医・実施校・実施事業所に参加いただく打合せの場を設けることで、保護者の要望を直接聞き取り、実施方針を関係者全員で確認し共有する体制を構築できた。		
課題	事例の蓄積がまだ少なく、宿泊を伴う校外活動等への対応の可否など、未検討の課題も多い。時間的・人力的な制約により、保護者や学校の要望に対応しきれないケースが出てくる懸念される。	今後の方針	児童生徒が安心して通える環境の整備を万全にするため、主治医・保護者・学校・訪問看護事業所・子育て支援課（学校休業日の学童保育における医療的ケア実施担当課）等関係者との連携を密にしながら実施していく。

事業名		特別支援教育就学奨励事業	
概要	小中学校の特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及、奨励を図ることを目的として奨励費を支給する。		
計画	○対象者：112人 ○支給額：5,093,067円	実績・成果	○対象者：119人 ○支給額：4,524,235円
予算	予算総額 5,094,000 円 (内訳) 学用品費 778,000 円 新入学学用品費 730,000 円 修学旅行費 311,000 円 校外活動費 205,000 円 通学費 12,000 円 給食費 3,058,000 円	決算	決算総額 4,524,235 円 (内訳) 学用品費 748,673 円 新入学学用品費 639,290 円 修学旅行費 192,154 円 校外活動費 61,340 円 通学費 0 円 給食費 2,882,778 円
評価	特別支援学級在籍児童生徒の大半が支給対象（一部辞退者、所得による対象外あり）となっており、保護者の経済的な負担軽減に寄与している。		
課題	生活保護基準の見直しにより、対象者数が大きく変わる場合がある。	今後の方針	今後も対象者に対し適正に支給を行う。

(6) コミュニティ・スクール制度の推進

事業名		学校運営協議会の設置	
概要	学校の教育目標、教育方針、教育活動の実施、地域の連携、学校運営に地域の意見を反映させ、開かれた学校づくりを推進するために配置している学校評議員から、法律改正に伴い設置する学校運営協議会への移行を実施するものである。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会実施校 市内全校 ※合同で実施する地区も有り ○実施回数 各校（地区）3回程度を目安とする 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会実施校 ・単一校実施 12校 ・地区実施 10地区（10校） ○実施回数 各校（地区） 合計45回実施
予算	予算総額 2,722,000 円 （内訳） 報酬 600,000 円 費用弁償 1,632,000 円 需用費 490,000 円	決算	決算総額 1,205,095 円 （内訳） 報酬 245,000 円 費用弁償 667,044 円 需用費 293,051 円
評価	保護者や地域の意見が反映された学校運営がなされる事を期待しているが、導入直後ということもあり、思い描く効果はまだ出ていない。		
課題	学校及び地域関係者において「学校運営協議会」そのもののあり方、考え方に差があるため、制度の意義等に関し、更なる周知徹底を図る。	今後の方針	令和2年度からの導入に伴い各学校に対する制度の周知及び活用について進め、併せて先進地区の優良事例等があれば共有し、対応することとする。

(7) 奨学金制度の充実

事業名		奨学金貸付事業	
概要	当市に住所を有する者の子弟で高等学校又はそれと同等以上の学校に修学している者に対して、修学上必要な学費の一部を貸与し、人材の育成を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○貸与 ・高校生：3,960,000円 （継続12人、新規10人 計22人） ・大学生等：36,000,000円 （継続60人、新規40人 計100人） ○返還 ・現年度分：38,805,000円 ・滞納分：22,266,000円 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○貸与 ・高校生：2,160,000円 （継続12人） ・大学生等：30,330,000円 （継続58人、新規28人 計86人） ○返還 ・現年度分：36,705,000円 ・繰上返還分：4,560,000円 ・滞納分：4,376,000円
予算	予算総額 80,391,000 円 （内訳） 委員報酬 65,000 円 費用弁償 109,000 円 需用費 20,000 円 役務費 33,000 円 委託料 184,000 円 貸付金 39,960,000 円 積立金 40,020,000 円	決算	決算総額 79,401,823 円 （内訳） 委員報酬 39,000 円 費用弁償 43,373 円 需用費 21,450 円 役務費 0 円 委託料 0 円 貸付金 32,490,000 円 積立金 46,808,000 円
評価	令和2年度は新規28名を含む98名への貸与を行った。本奨学金はあくまで貸与型であり、貸与額も高校生で月額1万5千円、大学生等で月額3万円とやや少額であるが、無利子で返還しやすいこともあり、修学に係る経済的負担を軽減する制度の一つとして求められている。		

課題	<p>他の制度と併用している方が多いため、国や県、他自治体の動向を注視し、給付型奨学金の創設を含め奨学金制度の見直しについて調査研究していく必要がある。</p> <p>経済的理由により進学を断念することがないように、市内の中学校及び高等学校の生徒や保護者、学校関係者に対して十分に制度を周知していく必要がある。</p>	今後の方針	<p>給付型奨学金の実施には新たな財源が必要となるため現状では難しい。他の制度と併せて検討し利用してもらえるよう、引き続き周知・運用していく。</p> <p>加えて、国や県、他自治体等の多様な取組を参考に、進学を望む生徒たちのよりよい将来を考え、制度設計や運用について柔軟に検討していく。</p>
----	---	-------	--

事業名			
次代を担うプラチナ人材育成プロジェクト（未来人材育成奨学金プロジェクト）			
概要	市内の高等学校から大学に進学し、医学を履修する課程を修学する者に対し、修学上必要な学費の一部を助成し、将来医師となる人材を育成するとともに、市の医師不足の解消、明確な目的を持った学習による市内の高等学校の学力の向上を図る。		
計画	<p>○募集人数：5人 （継続4人、新規1人）</p> <p>○助成金額：2,500,000円 （1人当たり500,000円）</p>	実績・成果	<p>○応募人数：4人 （継続4人）</p> <p>○助成金額：2,000,000円 （1人当たり500,000円）</p>
予算	<p>予算総額 2,500,000 円</p> <p>（内訳） 助成金 2,500,000 円</p>	決算	<p>決算総額 2,000,000 円</p> <p>（内訳） 助成金 2,000,000 円</p>
評価	令和2年度は残念ながら新規申請が0件であったが、継続申請が4件あり、助成を実施した。まだ実際に医師になった対象者がいないため、評価が難しい面もあるが、医学部修学に係る経済的負担を軽減することで、将来医師となる人材の育成に寄与していると考えている。		
課題	<p>当市の医師不足の解消につなげることが本事業の趣旨の一つであるが、それが「しぼり」のように感じられ、学生の負担となるという市民からの指摘もあった。</p> <p>また、毎年度目標値を掲げてはいるが、新規の申請者数の増減を予測しづらい面もある。</p>	今後の方針	<p>市長からの助成金贈呈式の際に当市の医療の現状について説明し、問題意識を持ってもらう取組をしている。</p> <p>制度のあり方について、今後の議論も注視しつつ、継続して実施していきたい。</p>

(8) 学校保健の充実

事業名			
健康診断委託事業			
概要	学校保健安全法の規定により、当該児童生徒並びに教職員（県費）の健康管理及び健康維持のために健康診断を毎年定期に実施する。		
計画	<p>○対象児童生徒数：3,866人</p> <p>○対象教職員数：462人</p>	実績・成果	<p>○受診児童生徒数：3,823人</p> <p>○受診教職員数：265人</p> <p>※未受信者は、個別に人間ドック等を受診</p>
予算	<p>予算総額 8,598,000 円</p> <p>（内訳） 委託料内訳</p> <p>尿検査 773,000 円</p> <p>心電図検査 1,961,000 円</p> <p>貧血検査 477,000 円</p> <p>教職員健診 5,181,000 円</p> <p>教職員ストレスチェック 206,000 円</p>	決算	<p>決算総額 7,131,779 円</p> <p>（内訳） 委託料内訳</p> <p>尿検査 764,600 円</p> <p>心電図検査 1,917,000 円</p> <p>貧血検査 457,160 円</p> <p>教職員健診 3,787,475 円</p> <p>教職員ストレスチェック 205,544 円</p>

評価	教職員健診は毎年全4日間（内1日は脇野沢診療所）で実施しているが、昨年から1日のみ夏期休業中に実施し、大変好評をいただいている。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、日程変更などスムーズに実施できなかったが、年度内には滞りなく実施することができた。		
課題	教職員健康診断について、平日の早朝に実施後、通常勤務のため、体力的に厳しいという声が上がっている。そのため、夏休み等の実施を検討する必要がある。	今後の方針	教職員健康診断について、実施時期を青森県総合健診センターと相談の上、見直していく。

事業名		学校医委託事業																					
概要	学校における児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るよう各種健康診断や健康相談業務を行うため、学校保健安全法の規定に基づき、産業医、学校医及び学校歯科医並びに学校薬剤師を委嘱する。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○学校医 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒400人以下 @226,000円×13人 ・児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×13人 ○学校歯科医 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数500人以下 @224,000円×17人 ・児童生徒数501人以上 @291,200円×2人 ○学校薬剤師 @157,000円×22人 ○産業医 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員数50人以上 @360,000円×1人 ○眼科耳鼻科医（川内・大畑・脇野沢検診） <ul style="list-style-type: none"> ・眼科医（大畑） @200,000円×1人 ・眼科医（川内・脇野沢） @100,000円×2人 ・耳鼻科医（大畑） @200,000円×1人 ・耳鼻科医（川内・脇野沢） @100,000円×2人 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○学校医 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒400人以下 @226,000円×16人 ・児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×10人 ○学校歯科医 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数500人以下 @224,000円×17人 ・児童生徒数501人以上 @291,200円×2人 ○学校薬剤師 @157,000円×22人 ○産業医 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員数50人以上 @360,000円×1人 ○眼科耳鼻科医（川内・大畑・脇野沢検診） <ul style="list-style-type: none"> ・眼科医（大畑） @200,000円×1人 ・眼科医（川内・脇野沢） @100,000円×2人 ・耳鼻科医（大畑） @200,000円×1人 ・耳鼻科医（川内・脇野沢） @100,000円×2人 																				
予算	<p>予算総額 15,762,000 円</p> <p>(内訳) 委託料内訳</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>学校医</td><td>6,757,400 円</td></tr> <tr><td>学校歯科医</td><td>4,390,400 円</td></tr> <tr><td>学校薬剤師</td><td>3,454,000 円</td></tr> <tr><td>産業医</td><td>360,000 円</td></tr> <tr><td>眼科耳鼻科医</td><td>800,000 円</td></tr> </table>	学校医	6,757,400 円	学校歯科医	4,390,400 円	学校薬剤師	3,454,000 円	産業医	360,000 円	眼科耳鼻科医	800,000 円	決算	<p>決算総額 15,558,400 円</p> <p>(内訳) 委託料内訳</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>学校医</td><td>6,554,000 円</td></tr> <tr><td>学校歯科医</td><td>4,390,400 円</td></tr> <tr><td>学校薬剤師</td><td>3,454,000 円</td></tr> <tr><td>産業医</td><td>360,000 円</td></tr> <tr><td>眼科耳鼻科医</td><td>800,000 円</td></tr> </table>	学校医	6,554,000 円	学校歯科医	4,390,400 円	学校薬剤師	3,454,000 円	産業医	360,000 円	眼科耳鼻科医	800,000 円
学校医	6,757,400 円																						
学校歯科医	4,390,400 円																						
学校薬剤師	3,454,000 円																						
産業医	360,000 円																						
眼科耳鼻科医	800,000 円																						
学校医	6,554,000 円																						
学校歯科医	4,390,400 円																						
学校薬剤師	3,454,000 円																						
産業医	360,000 円																						
眼科耳鼻科医	800,000 円																						
評価	委嘱等も滞りなく通知でき、医師会等としっかりと連携がとれた。																						
課題	学校医の委嘱が遅れないよう、医師会との連携をしっかりと行う必要がある。	今後の方針	健康診断の日程調整前に医師会に確認を行う。																				

事業名		学校災害共済給付事業	
概要	保護者の同意を得て文部科学省が所管する日本スポーツ振興センターとの間に災害共済給付契約を締結し、学校管理下の災害に対して児童生徒に当該医療費を給付する。		
計画	○日本スポーツ振興センター 災害共済掛金（1人当たり） ・一般： 945円 ・要保護： 55円	実績・成果	○日本スポーツ振興センター 災害共済掛金（加入者数：3,848人） ・一般：935円（市負担：475円） ・準要保護：705円（全額市負担） ・要保護：45円（全額市負担） ※令和2年度からは準要保護は計上しない。 ○日本スポーツ振興センター災害共済 ・災害発生件数： 254件 ・医療費給付額： 3,164,015円
予算	予算総額 3,572,365 円 （内訳） 負担金内訳 一般 3,120,095 円 準要保護 426,735 円 要保護 2,160 円 転入者分 23,375 円	決算	決算総額 3,515,260 円 （内訳） 負担金内訳 一般 3,512,920 円 準要保護 0 円 要保護 2,340 円 転入者分 0 円
評価	学校管理下の災害に対して、日本スポーツ振興センターの災害共済に加入していることで、医療費を給付するものであるが、昨年度は小中学校に在籍する全世帯に加入してもらっている。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、課外活動・部活動の頻度も減少していることから災害件数は令和元年度より約100件ほど少なくなっている。		
課題	給付の請求漏れがないよう、保護者の制度への認知、理解度を深めることが必要となる。	今後の針	給付制度について、保護者の理解、認知度を高めるため、学校を通じ制度の周知を図る。

事業名		学校保健会補助事業	
概要	学校保健安全教育を推進し、地域社会の協力を得て心身ともに健全な児童、生徒の育成に寄与することを目的としたむつ市学校保健会及びむつ下北学校保健会に協賛する。		
計画	○負担金 ・むつ市学校保健会 20,000円 ・むつ下北学校保健会 137,920円	実績・成果	○負担金 ・むつ市学校保健会 20,000円 ・むつ下北学校保健会 136,710円
予算	予算総額 158,000 円 （内訳） 負担金 158,000 円	決算	決算総額 156,710 円 （内訳） 負担金 156,710 円
評価	学校保健会の補助申請に対して、遅滞なく負担金を支出した。		
課題	負担金の大半が、むつ下北学校保健会への支出であるため、圧縮が難しい。	今後の針	むつ下北学校保健会の決算状況を精査していく。

【参考】肥満傾向児数及び肥満傾向児出現率

1. 令和元年度

性別	市町村	項目	単位	小 学 校								中 学 校			
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	
				男子	むつ市	受検者数	人	217	211	253	196	246	210	1,333	218
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	人	10	14	15	17	26	19	101	21	19	12	52	
		中等度肥満 (肥満度30%以上50%未満)	人	9	10	25	16	12	16	88	15	13	17	45	
		高度肥満 (肥満度50%以上)	人	3	5	4	2	10	3	27	4	8	7	19	
		肥満計	人	22	29	44	35	48	38	216	40	40	36	116	
		肥満傾向児出現率	%	10.14	13.74	17.39	17.86	19.51	18.10	16.20	18.35	17.47	16.14	17.31	
		青森県肥満傾向児出現率	%	9.59	10.41	15.36	16.17	13.12	13.11	/	14.08	12.96	14.48	/	
		全国肥満傾向児出現率	%	4.68	6.41	8.16	10.57	10.63	11.11	/	11.18	9.63	8.96	/	
女子	むつ市	受検者数	人	213	185	220	197	209	215	1,239	233	218	228	679	
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	人	12	11	16	12	21	7	79	12	14	12	38	
		中等度肥満 (肥満度30%以上50%未満)	人	7	8	12	9	11	8	55	15	10	10	35	
		高度肥満 (肥満度50%以上)	人	3	1	4	2	1	2	13	6	8	2	16	
		肥満計	人	22	20	32	23	33	17	147	33	32	24	89	
		肥満傾向児出現率	%	10.33	10.81	14.55	11.68	15.79	7.91	11.86	14.16	14.68	10.53	13.11	
		青森県肥満傾向児出現率	%	9.51	8.76	13.49	11.29	12.21	10.02	/	13.26	9.73	11.44	/	
		全国肥満傾向児出現率	%	4.33	5.61	6.88	7.85	8.46	8.84	/	8.48	7.88	7.37	/	

※出典：令和元年度学校保健調査、むつ市学校保健会報第42号

2. 令和2年度

性別	市町村	項目	単位	小 学 校								中 学 校			
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	
				男子	むつ市	受検者数	人	214	217	207	249	196	244	1,327	210
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	人	18	13	13	26	16	25	111	21	17	19	57	
		中等度肥満 (肥満度30%以上50%未満)	人	5	17	18	26	19	20	105	15	15	14	44	
		高度肥満 (肥満度50%以上)	人	5	9	5	10	4	8	41	5	5	9	19	
		肥満計	人	28	39	36	62	39	53	257	41	37	42	120	
		肥満傾向児出現率	%	13.08	17.97	17.39	24.90	19.90	21.72	19.37	19.52	17.29	18.58	18.46	
		青森県肥満傾向児出現率	%	9.93	15.36	9.99	20.78	15.59	20.86	/	16.57	14.82	14.37	/	
		全国肥満傾向児出現率	%	5.85	8.77	11.67	13.58	14.24	13.31	/	12.71	12.18	10.94	/	
女子	むつ市	受検者数	人	187	207	181	213	199	208	1,195	210	235	218	663	
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	人	8	17	14	19	6	15	79	10	20	15	45	
		中等度肥満 (肥満度30%以上50%未満)	人	6	12	7	12	11	11	59	6	15	11	32	
		高度肥満 (肥満度50%以上)	人	1	5	3	5	3	2	19	3	4	7	14	
		肥満計	人	15	34	24	36	20	28	157	19	39	33	91	
		肥満傾向児出現率	%	8.02	16.43	13.26	16.90	10.05	13.46	13.14	9.05	16.60	15.14	13.73	
		青森県肥満傾向児出現率	%	5.13	9.11	11.80	16.53	10.42	13.17	/	16.95	14.57	11.00	/	
		全国肥満傾向児出現率	%	5.16	7.25	8.89	9.32	9.47	9.36	/	8.89	8.53	8.29	/	

※出典：令和2年度学校保健調査

(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100(\%)$$

事業名		学校災害入院補償事業	
概要	児童生徒が学校管理下において発生した事故で負傷し入院した場合に、当該児童生徒へ入院補償保険金（見舞金）を支払う。		
計画	○入院日数別の補償金額及び想定件数 ・15日以下 : 10,000円×10件 ・16日以上30日以下 : 20,000円×5件	実績・成果	○補償金の支給件数 ・15日以下 : 10,000円×4件 ・16日以上30日以下 : 20,000円×1件
予算	予算総額 200,000 円 (内訳) 補償補填 200,000 円	決算	決算総額 60,000 円 (内訳) 補償補填 60,000 円
評価	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、課外活動・部活動の頻度も減少していることから学校管理下における入院が伴う負傷件数が少なかった。		
課題	給付の請求漏れがないよう保護者の制度への認知、理解度を深めることが必要となる。	今後の方針	給付制度について、保護者の理解、認知度を高めるため、学校を通じ制度の周知を図る。

(9) 学校給食の充実

事業名		学校給食管理事業	
概要	共同調理場3施設、単独調理場9施設において「安全・安心」な給食を提供するため、学校給食運営及び給食施設の維持管理を行う。		
計画	市直営の共同調理場2施設、単独調理場9施設の維持管理及び指定管理を行っている共同調理場1施設の調理・運搬業務委託を行い、市内小中学校22校に「安全・安心」な給食を提供する。	実績・成果	市直営の共同調理場2施設、単独調理場9施設の維持管理及び指定管理を行っている共同調理場1施設の調理・運搬業務委託を行い、市内小中学校22校に「安全・安心」な給食を提供した。
予算	予算総額 154,486,000 円 (内訳) 給料 51,990,000 円 職員手当 5,865,000 円 需用費 22,572,000 円 役務費 2,568,000 円 委託料 71,451,000 円 工事請負費 0 円 原材料費 0 円 負担金 40,000 円 補償補てん及び賠償金 0 円	決算	決算総額 160,195,066 円 (内訳) 給料 53,574,101 円 職員手当 5,275,872 円 需用費 21,725,840 円 役務費 2,124,647 円 委託料 71,015,400 円 工事請負費 6,261,310 円 原材料費 2,588 円 負担金 39,500 円 補償補てん及び賠償金 175,808 円

評価	「安全・安心」な給食を提供することができ、また、学校給食運営及び給食施設の維持管理を安全に行うことができた。		
課題	食中毒防止のため、調理場及び学校内での衛生管理に努めているが、老朽化した調理施設が多く、衛生環境の維持が困難になってきている状況である。近年、食物アレルギーを有する児童生徒が増加傾向にあり、独立した調理スペースを確保できず、十分な対応とはいえない状況である。	今後の方針	現在の調理施設の機能維持に必要な修繕等を実施しつつ、衛生管理基準に適合、また、アレルギー対応が可能な（仮称）防災食育センターの建設に向け、準備を進めていく。

事業名	学校給食設備整備事業		
概要	「安全・安心」な学校給食を提供するため、老朽化や耐用年数の超過した調理機器・用具の修繕又は購入をとおして調理環境の整備を図る。		
計画	○現有機器の修繕及び点検・調整等 ○老朽機器の更新	実績・成果	○現有機器の修繕及び点検・調整等 ・修繕（ガス回転釜部品交換等） 14件 1,101,116円 ・点検・調整等 4件 174,020円 ○老朽機器の更新（給食用調理器具購入等） 7件 1,006,830円
予算	予算総額 6,934,000 円 （内訳） 需用費 1,343,000 円 役務費 316,000 円 備品購入費 5,275,000 円	決算	決算総額 2,281,966 円 （内訳） 需用費 1,101,116 円 役務費 174,020 円 備品購入費 1,006,830 円
評価	「安全・安心」な学校給食を提供するため、調理機器・用具の修繕等を行い、調理環境の整備を図ることができた。		
課題	耐用年数が過ぎた機器が多いため故障が多く、修繕費が高む傾向にある。	今後の方針	老朽化した調理機器等の計画的な更新を実施しつつ、衛生管理基準に適合できる（仮称）防災食育センター建設準備を進めていく。

事業名	学校給食運搬用自動車更新事業		
概要	大畑学校給食センター配送車更新事業		
計画	安全・安心な給食の配送業務を行う。	実績・成果	安全・安心な給食の配送業務を行った。
予算	予算総額 8,002,000 円 （内訳） 役務費 115,000 円 備品購入費 7,846,000 円 公課費 41,000 円	決算	決算総額 7,846,189 円 （内訳） 役務費 96,989 円 備品購入費 7,700,000 円 公課費 49,200 円
評価	老朽化した大畑学校給食センター配送車の更新を行うことができた。		
課題	食中毒防止の観点から2時間以内に喫食することになっているため、当該基準時間内の配送業務を行う。	今後の方針	給食の配送に支障が出ないよう安全・安心な配送業務を行う。

事業名		(仮称) 防災食育センター建設事業	
概要	通常時は小中学校に給食を提供する施設として使用し、災害発生時には防災機能を果たす施設として、総合的な推進を図るために必要な施設として整備する。		
計画	補助金申請や建設計画に必要な事業計画を行う。	実績・成果	補助金申請や建設計画に必要な事業計画を行った。
予算	予算総額 52,747,000 円 (内訳) 旅 費 317,000 円 役 務 費 548,000 円 委 託 料 51,882,000 円	決算	決算総額 4,749,580 円 (内訳) 旅 費 0 円 役 務 費 0 円 委 託 料 4,749,580 円
評価	基本計画策定業務内で当初計画していた建設予定地から、再度様々な角度から考察を行った結果、時間を要することとなり、当初予定していた委託業務等を行うことができず、基本計画策定業務のみの実施となった。今後は事業をスムーズに実施し、早期建設を目指す。		
課題	防災と食育を兼ね備えた施設の検討を早期に進める必要がある。	今後の方針	建設、運営に向けて、検討を行う。

■ 重点項目の総括評価 ■

<p>コロナ禍において様々な事業の実施が困難になる中、学校の状況把握に努め、学校活動が継続できるよう対応できた。また、GIGAスクール構想によるタブレットの利用環境の整備や、防災食育センターの基本計画の策定など、様々な面において、教育環境の改善に向けた取組を行うことができた。</p>
--

2 生涯学習課

重点項目の点検（令和2年度の具体的な取組状況）

（1）生涯学習の推進

事業名		社会教育委員の配置																					
概要	社会教育法第15条1項の規定に基づき、社会教育に関する諮問に対して意見を述べ、諸計画の立案を行うため必要な研究調査を行い、教育委員会に助言することができる社会教育委員を配置する。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○委員定数 13人以内 ○任期期間 2年間 ○会議 <ul style="list-style-type: none"> ・むつ市社会教育委員会議 ・下北地区社会教育委員連絡協議会 ・青森県社会教育委員連絡協議会 ○団体構成 <ul style="list-style-type: none"> ・青森県社会教育委員連絡協議会及び下北地区社会教育委員連絡協議会の構成団体として活動する。 ○研修 <ul style="list-style-type: none"> ・資質向上のため各種研修会へ参加する。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○委員定数 13人 ○任期期間 令和元年10月1日～令和3年9月30日（2年間） ○会議開催 <ul style="list-style-type: none"> ・むつ市社会教育委員会議 2回 ・下北地区社会教育委員連絡協議会 4回 ・青森県社会教育委員連絡協議会 5回 （書面開催含む） ○研修参加 <ul style="list-style-type: none"> ・青森県社会教育研究大会 中止 ・下北地区社会教育研究会 風間浦大会 中止 																				
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">169,994 円</td> </tr> <tr> <td>（内訳） 報酬</td> <td style="text-align: right;">104,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">54,994 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">11,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	169,994 円	（内訳） 報酬	104,000 円	費用弁償	54,994 円	消耗品	0 円	負担金	11,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">158,994 円</td> </tr> <tr> <td>（内訳） 報酬</td> <td style="text-align: right;">104,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">54,994 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> </table>	決算総額	158,994 円	（内訳） 報酬	104,000 円	費用弁償	54,994 円	消耗品	0 円	負担金	0 円
予算総額	169,994 円																						
（内訳） 報酬	104,000 円																						
費用弁償	54,994 円																						
消耗品	0 円																						
負担金	11,000 円																						
決算総額	158,994 円																						
（内訳） 報酬	104,000 円																						
費用弁償	54,994 円																						
消耗品	0 円																						
負担金	0 円																						
評価	ほとんどが中止となり、評価ができないが、書面開催により意思疎通は図られたと評価する。																						
課題	委員の社会教育への理解度を深め、全般的なスキルアップ向上が課題である。	今後の方針	新型コロナウイルス感染症拡大防止をしながら、会議を開催し、研究大会等を通して委員のスキルアップに努める。																				

事業名		社会教育指導員による学習支援	
概要	社会教育の振興を図るため、社会教育指導員を配置する。		
計画	○社会教育指導員を1人配置する。	実績・成果	○社会教育指導員の配置：1人 ・任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日 ・社会教育団体に関する情報収集 ・自然観察会の企画、実施 ・学習相談への対応 ・「むつ市の社会教育行政」の作成
予算	予算総額 1,974,000 円 (内訳) 報酬 1,688,000 円 職員手当等 118,000 円 費用弁償 168,000 円	決算	決算総額 1,867,133 円 (内訳) 報酬 1,571,597 円 職員手当等 117,936 円 費用弁償 177,600 円
評価	市民のニーズに注視し、内容の精査、及び変化を加え、企画することができた。		
課題	専門性が求められるため、人選が難しい。	今後の方針	多様化している学習課題や学習ニーズに対応するため、より一層の情報収集と市民への周知を図る。

事業名		成人式の開催	
概要	二十歳を迎える若者を祝福し、将来を担う市民としての自覚を促す。		
計画	○対象者（見込） 556人 ※対象者 平成12年4月2日から平成13年4月1日 生まれの市内在住及び市外在住の参加希望者	実績・成果	○式典開催日 令和3年1月10日（日） ↓ 延期 令和3年12月26日（日）
予算	予算総額 390,303 円 (内訳) 報償費 42,303 円 費用弁償 6,000 円 消耗品 68,000 円 印刷製本費 202,000 円 食料費 3,000 円 役務費 47,000 円 委託料 18,000 円 使用料 4,000 円	決算	決算総額 186,922 円 (内訳) 報償費 0 円 費用弁償 0 円 消耗品 51,127 円 印刷製本費 135,795 円 食料費 0 円 役務費 0 円 委託料 0 円 使用料 0 円
評価	今年度は延期としたため、評価できない。今後も安全対策を第一に考え実施する。		
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、成人式の開催が延期となった。終息の見込みがないため、ワクチン接種の対応が鍵となる。	今後の方針	ワクチン接種が迅速に行われることを期待し、国民にある程度ワクチン接種が行われることを想定し、延期した日程での開催に向けて準備する。

事業名		自然観察会の開催	
概要	市民の心豊かな暮らしを実現するため、地域の自然に触れながら季節の移ろいを感じていただく自然観察会を開催する。		
計画	季節ごとの観察会を開催する。	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○春：水源池公園自然観察 (緊急事態宣言発令により中止) ○夏：夏の夜の星空観察 令和2年8月28日 参加者15人 ○秋：秋の釜臥山自然観察 令和2年10月4日 参加者17人 ○冬：川内川越冬する野鳥観察 (大雪により中止)
予算	予算総額 26,000 円 (内訳) 報償費 23,000 円 費用弁償 3,000 円	決算	決算総額 10,396 円 (内訳) 報償費 7,500 円 費用弁償 2,896 円
評価	今年度は、感染症、大雪による中止が2回あり、従来通りの事業はできなかった。実施した回については、募集人数を超えた応募があり成果が得られた。下記の課題については、今後広報の仕方など変えていく必要がある。		
課題	参加者が固定化してきている。	今後の方針	市民の学習ニーズを把握し、開催のあり方やPRの方法、内容などを検討していく。



秋の釜臥山自然観察の様子

(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進

事業名		放課後子ども教室推進事業	
概要	<p>文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（むつ市こどもみらい部所管「なかよし会」）」で構成される「放課後子ども総合プラン」に基づき実施。 全ての子どもが放課後を安心安全に過ごすことができる環境作りを、地域とともに目指す。</p>		
計画	<p>○年に2回、事業計画の策定やなかよし会との情報交換の場として、「むつ市放課後子どもプラン運営委員会」を開催する。 ○各教室ごとにコーディネーターと教育活動サポーターを配置し、事業を実施する。 ○費用負担：（国1/3、県1/3、市1/3）</p>	実績・成果	<p>○運営委員会：委員12人 会議開催2回 （1回は書面） ○子ども教室数：5教室 ○コーディネーターの配置：5人 ○教育活動サポーターの登録：17人 任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日 ○内容：スポーツ、畑づくり、読み聞かせ、工作、学習補助 ○感染症対策のため、例年の2割ほどの活動となった</p>
予算	<p>予算総額 1,133,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 369,000 円 費用弁償 354,000 円 需用費 121,000 円 役務費 79,000 円 備品購入費 210,000 円</p>	決算	<p>決算総額 780,582 円</p> <p>(内訳) 報償費 345,980 円 費用弁償 102,330 円 需用費 107,780 円 役務費 26,250 円 備品購入費 198,242 円</p>
評価	<p>例年の2割ほどの活動となったものの、少ない開催回数の中で子どもたちにドローン操縦やプログラミングなどさまざまな活動をさせることができたことは評価できる。</p>		
課題	<p>令和3年度からは地域学校協働活動のひとつとして放課後子ども教室が位置づけられるため、事業の運用等について調整が必要である。</p>	今後の方針	<p>事業の位置づけや名称等が変わっても、子どもたちの安心安全な居場所づくりを目指す方針は変わらない。 今後は地域の人材の掘り起こしを図り、活動拠点を広げていく必要がある。</p>



放課後子ども教室受講の様子

(3) 社会教育施設の機能充実

事業名		むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	
概要	<p>恵まれた自然環境の中で、市民の生涯学習や子ども達の体験学習の場として活用しながら、地域の情報発信に寄与することを目的に施設を運営する。 指定管理制度を導入し、質の高い事業内容と利用者の増加を図り、安定した施設運営を目指す。</p>		
計画	<p>○貝殻の常設、企画展示及び貝殻を使ったワークショップ ○海の生物展示及びワークショップ ○ふるさと自然学校～海Ver ○ジオパーク教育活動 ○イルカ教育活動</p>	実績・成果	<p>【指定管理者】 NPO法人シェルフオレスト川内 【指定管理期間】 平成30年4月1日～令和3年3月31日 【年度中の施設利用者（人数）】 2,119人 【事業実施状況】 ○常設展示 ・「山口和雄コレクション 世界の貝」（世界の貝殻約100種） ・海の生きもの生態展示 「下北の自然 むつ湾の生きもの」 「下北の自然 海の生きもの進化を知ろう」 「陸奥湾のイルカとジオパーク」 ・川の生きもの生態展示 「下北の自然 ふるさとの川の生きもの」 ○企画展 「世界のカタツムリ展」 ○海の自然学校（自然体験型科学教室） カヌー体験、スキンドайビングによる生きもの生態観察など ・8月12日 5名 ・8月15日～16日 4名</p>
予算	<p>予算総額 15,808,000 円 (内訳) 委託料 15,808,000 円</p>	決算	<p>決算総額 15,808,000 円 (内訳) 委託料 15,808,000 円</p>
評価	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、思うような活動成果は得られなかった。</p>		
課題	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止により1企画あたりの人数に制限がある為、利用者の集客が難しい。 建物（電気設備等）の老朽化も進んでいる。</p>	今後の方針	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止をしながら新しい企画により利用者の増加を図る。 利用したいという要望は多かったため、今後は受け入れ体制を強化していきたい。また、施設の修繕箇所も見受けられるので、改修も検討していく。</p>

事業名		むつ市下北自然の家の管理・運営	
概要	<p>本施設は、豊かな自然環境を活かし、集団宿泊、野外活動、自然体験等を通じて健全で心身ともに調和のとれた青少年を育成するための場を提供すること、また市民が生涯学習の場として利用し、結果として地域振興に寄与することを目的に設置された。</p> <p>指定管理制度を活用することで、質の高い住民サービスの提供、利用者数の増加、安定した施設運営をめざす。</p>		
計画	<p>○主催事業の実施</p> <p>○自主事業の実施</p> <p>○受入事業の実施</p>	実績・成果	<p>【指定管理者】 一般財団法人むつ市教育福祉振興会</p> <p>【指定管理期間】 令和2年4月1日～ 令和5年3月31日</p> <p>【施設の利用状況（総数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体数 201団体 ・利用者実人数 3,224人 ・利用者延人数 3,530人 ・宿泊者人数 264人 <p>【事業の実施状況】</p> <p>○主催事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・26事業 ・26団体 ・利用者実人数 369人 ・主な事業名 黒森山登山、ツリーイング体験 <p>○自主事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8事業 ・8団体 ・利用者実人数 251人 ・主な事業名 そば打ち体験、べこもち作り <p>○受入事業及び出張講座等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入事業 78事業 ・出張講座等 89事業 ・利用者実人数 2,604人 ・主な団体名 大間海の子F C りんどうの会
予算	<p>予算総額 86,363,855 円</p> <p>(内訳) 修繕費 173,855 円</p> <p>委託料 84,573,000 円</p> <p>工事請負費 1,617,000 円</p>	決算	<p>決算総額 86,362,855 円</p> <p>(内訳) 修繕費 173,855 円</p> <p>委託料 84,572,000 円</p> <p>工事請負費 1,617,000 円</p>
評価	<p>主催事業、自主事業とも素晴らしく、工夫を重ね利用者も多い。しかし、新型コロナウイルス感染症のため事業が半減した。施設休止期間中に部分リニューアルを実施したため、事業参加者からの反応は好評だった。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止等は徹底していた。</p>		
課題	<p>建物の老朽化で修繕等が必要な箇所が多々ある。また、備品についても古くなっており更新が必要である。</p>	今後の方針	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止として出張講座を増やすなどの対策を取っており、質の高い事業実施ができていることから、建物の老朽化対策と備品の更新について計画的に行っていく。</p>

(4) 芸術・文化活動の奨励と振興

事業名		むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展																	
概要	むつ市表彰条例に基づき、むつ市において主に文化芸術分野で著しい功績をあげた方を文化賞・文化奨励賞の対象者として選定、推薦し、審査会に諮る。 また、受賞者の功績を広く市民に紹介するため受賞者紹介展を開催する。																		
計画	むつ市の文化賞・文化奨励賞対象者を抽出選定し、推薦する。 また、受賞者が出た場合は受賞者紹介展を開催する。	実績・成果	○文化奨励賞対象者2名推薦 (審査の結果、文化賞へ格上げ) ○文化賞・文化奨励賞受賞者紹介展 ・期間：令和2年11月2日～11月9日 ・会場：北の防人大湊 式番館																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>89,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>50,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>32,000 円</td> </tr> <tr> <td>役員費</td> <td>7,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	89,000 円	(内訳) 報償費	50,000 円	消耗品費	32,000 円	役員費	7,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>59,229 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>27,500 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>29,089 円</td> </tr> <tr> <td>役員費</td> <td>2,640 円</td> </tr> </table>	決算総額	59,229 円	(内訳) 報償費	27,500 円	消耗品費	29,089 円	役員費	2,640 円
予算総額	89,000 円																		
(内訳) 報償費	50,000 円																		
消耗品費	32,000 円																		
役員費	7,000 円																		
決算総額	59,229 円																		
(内訳) 報償費	27,500 円																		
消耗品費	29,089 円																		
役員費	2,640 円																		
評価	文化賞の対象となる顕著な活動をした者を選出・推薦し、受賞に繋げることができた。																		
課題	文化芸術の分野において、地域に根差した活動をしている方が減っていることから、候補者選定が年々難しくなっている。	今後の方針	社会教育団体等へも照会するなど、幅広く候補者の洗い出しを図る。																



受賞者紹介の様子

事業名		東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室	
概要	東京藝術大学佐野教授の御協力のもと、新進気鋭の若手演奏家を派遣いただき、小中学生の情操教育に寄与する。		
計画	○東京藝術大学出身の若手演奏家を市内小中学校に招聘し鑑賞教室を開催。音楽をとおして児童生徒と交流する。	実績・成果	○令和2年7月7日に関根小学校、関根中学校、大湊中学校にて開催予定であったが、感染症対策のため中止とした。
予算	予算額 0 円 (内訳) 報 償 費 0 円 旅 費 0 円 需 用 費 0 円 借 上 料 0 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 報 償 費 0 円 旅 費 0 円 需 用 費 0 円 借 上 料 0 円
評価	この事業は、主に首都圏の演奏家の来訪によるところから、今年度は開催できなかった。今後はオンラインでの開催も視野に入れながら、継続していきたい。		
課題	日程の都合上、開催を希望する学校すべてに訪問できるわけではない。	今後の方針	ハイレベルの演奏を間近で聞くことができ、児童生徒にとって貴重な経験となっている。今後も児童生徒が音楽に親しみ、関心を高めていくことができるよう事業を継続していく。

事業名		むつ市文化団体等支援事業	
概要	毎年むつ市民文化祭を主催している「むつ市文化団体協議会」に補助金を交付する。また「第九の会」など市民が主体となって活動を展開している文化芸術団体の支援を行う。		
計画	○「市民文化祭」「第九演奏会」などの事業に対して会場費助成や活動費の補助を行う。	実績・成果	○むつ市文化団体協議会の事業への補助 54,056円 ○下北文化会館会場使用料負担 ・第51回むつ市民文化祭 (感染症対策のため中止) ・「第九」演奏会 (感染症対策のため中止) ○文化芸術活動に対する共催・後援 ・共催承認 1件 ・後援承認 6件
予算	予算総額 74,000 円 (内訳) 補 助 金 74,000 円	決算	決算総額 54,056 円 (内訳) 補 助 金 54,056 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化祭や演奏会は中止となった。文化団体協議会への補助や文化芸術活動に対する共催・後援の承認は実施できた。		
課題	市は共催という立場にあるため、今後市民文化祭をどのように継続・展開していくのか主催団体と協議が必要となってくる。	今後の方針	補助の方法など、各団体の意見を聞きつつ検討していく。

(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

事業名		文化財保護審議会の設置																					
概要	文化財保護法第190条第1項、及びむつ市文化財保護条例第4条の規定に基づき、むつ市文化財保護審議会を設置し、当市における文化財の保存及び活用に資する。 また、下北地方文化財審議委員連絡協議会会員として、下北管内全域の文化財保護に資する。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○委員について <ul style="list-style-type: none"> ・定数:15人以内(現在14人) ・任期:2年(令和元年12月1日～令和3年11月30日) ○会議の開催:年2回 ○下北地方文化財審議委員連絡協議会(下文審)の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・審議委員は会員となっている ・生涯学習課が下文審事務局 ・年1回の総会、年2回の研修会を開催 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保護審議会会議:1回開催 <ul style="list-style-type: none"> ※コロナ感染症の影響により1回のみ ○下文審総会、前期研修会(むつ市) <ul style="list-style-type: none"> ※コロナ感染症の影響により総会は書面協議、前期研修会は中止 ○下文審後期研修会(むつ市大畑) <ul style="list-style-type: none"> 13人参加(うち、3名発表) 																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>391,278 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>201,500 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td>158,778 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>14,000 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>17,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	391,278 円	(内訳) 報酬	201,500 円	費用弁償	158,778 円	需用費	14,000 円	負担金	17,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>293,992 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>156,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td>107,002 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>13,990 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>17,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	293,992 円	(内訳) 報酬	156,000 円	費用弁償	107,002 円	需用費	13,990 円	負担金	17,000 円
予算総額	391,278 円																						
(内訳) 報酬	201,500 円																						
費用弁償	158,778 円																						
需用費	14,000 円																						
負担金	17,000 円																						
決算総額	293,992 円																						
(内訳) 報酬	156,000 円																						
費用弁償	107,002 円																						
需用費	13,990 円																						
負担金	17,000 円																						
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止を講じながら年度後半は会議や研修会を開催した。会議では下文審関連の協議を行い、委員それぞれの意見を聞くことができ、むつ市文化財保護審議会の意見としてまとめることができた。																						
課題	会議において、審議以外の協議に時間を費やし、会議時間が長くなりすぎていることが課題である。 また、委員の資質向上が課題である。	今後の方針	会議進行事前打ち合わせを綿密に行い、会議時間の短縮を図る。 委員の資質向上のために、研修会等へ積極的に参加するよう促す。																				

事業名		民俗芸能の保存と伝承活動の支援	
概要	伝統芸能に携わる団体等に対し、助成金等の情報を提供し活動を支援する。		
計画	○伝統芸能に携わる団体等に対し、保存・修復・伝承などの活動に充てる補助金や助成金の情報を提供し、活動を支援する。	実績・成果	○財団等助成金情報の提供 5件
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	活動支援は適切に行われた。		
課題	高齢化の進行により、活動を休止または廃止とした団体が増えてきている。	今後の方針	活動を続けている団体に情報を提供する。

事業名		文化財収蔵庫の管理・運営																																	
概要	<p>市内2ヶ所の文化財収蔵庫について、施設及び収蔵品の適正な管理（収蔵品の状態、所在確認と清掃等）に務める。</p> <p>未整理の収蔵品に関しては調査、整理、データベース化等を行い、むつ地区においては重要文化財指定品を収蔵しているため、施設管理人を配置する。</p>																																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○施設管理人を1人配置する。 <ul style="list-style-type: none"> ・データ化作業（計測、写真撮影）、収集、管理 ○整理人夫による所在確認、清掃作業の実施 ○収蔵品の公開と活用 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○施設管理人：1人（臨時職員） <ul style="list-style-type: none"> ・資料寄贈受理 2件 ・資料貸出 1件 ・写真提供 8件 ○整理人夫作業（3人） ○見学受入：0人 ○出前授業：1件（第三田名部小） ○むつ・川内地区収蔵品の活用展示を式番館で実施 																																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">4,826,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 賃金</td> <td style="text-align: right;">1,984,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">150,000 円</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td style="text-align: right;">2,000 円</td> </tr> <tr> <td>電気料</td> <td style="text-align: right;">1,528,000 円</td> </tr> <tr> <td>上下水道料</td> <td style="text-align: right;">169,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">345,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">648,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	4,826,000 円	(内訳) 賃金	1,984,000 円	消耗品費	150,000 円	燃料費	2,000 円	電気料	1,528,000 円	上下水道料	169,000 円	役務費	345,000 円	委託料	648,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">4,492,307 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 賃金</td> <td style="text-align: right;">1,960,725 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">217,792 円</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td style="text-align: right;">2,354 円</td> </tr> <tr> <td>電気料</td> <td style="text-align: right;">1,188,807 円</td> </tr> <tr> <td>上下水道料</td> <td style="text-align: right;">139,367 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">336,462 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">646,800 円</td> </tr> </table>	決算総額	4,492,307 円	(内訳) 賃金	1,960,725 円	消耗品費	217,792 円	燃料費	2,354 円	電気料	1,188,807 円	上下水道料	139,367 円	役務費	336,462 円	委託料	646,800 円
予算総額	4,826,000 円																																		
(内訳) 賃金	1,984,000 円																																		
消耗品費	150,000 円																																		
燃料費	2,000 円																																		
電気料	1,528,000 円																																		
上下水道料	169,000 円																																		
役務費	345,000 円																																		
委託料	648,000 円																																		
決算総額	4,492,307 円																																		
(内訳) 賃金	1,960,725 円																																		
消耗品費	217,792 円																																		
燃料費	2,354 円																																		
電気料	1,188,807 円																																		
上下水道料	139,367 円																																		
役務費	336,462 円																																		
委託料	646,800 円																																		
評価	<p>約10,000点もの資料のデータ化作業については7割弱が終了しているが、残りは歴史関係資料（古文書等）で1点1点の資料取り扱いにも注意が必要な物も多いため、完了までにはまだ時間を要すると思われる。</p> <p>また、出前授業については、年3回ほど校長会等で周知しているが、実施した学校において子供たちは「実際に見たり、さわったり、話が聞けたので楽しかった」や「もっと調べてみたくなった」など、一定の学習効果があったと思われる。</p>																																		
課題	今後も増えていく資料等受入に伴う、収蔵場所の確保が課題である。	今後の方針	資料整理と収蔵品の適正な管理及び活用を図る。 出前授業の実施について、学校へ活用を促す。																																



出前授業 むかしの道具を使った体験
「いもかんな」



式番館での収蔵品活用展示 自主事業の様子

事業名		北の防人大湊式番館の活用とガイド活動支援	
概要	<p>自主事業を開催し、北の防人大湊式番館の活用を図る。 また、歴史や自然に親んでもらうため、説明案内するガイドを養成するとともに、ガイドの拠点施設として施設を活用し、ガイド活動支援に努める。</p>		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○自主事業の企画、実施 ○ガイド養成講座の開講 ○ガイド活動団体の支援 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○自主事業の実施：2回 <ul style="list-style-type: none"> ・企画事業1 大湊ネブタ展 ・企画事業2 収藏品展 ○ガイド養成講座…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座中止 ○ガイド活動団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> (活動保険16人分、活動に必要な物品の購入等) ○総合的な学習に伴うジュニアガイド養成講座とその活動として市民の皆さんをガイドするツアーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施校：大湊小学校 ・ツアー参加者：40人
予算	<p>予算総額 317,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 10,000 円 旅費 20,000 円 消耗品費 100,000 円 印刷製本費 161,000 円 役務費 26,000 円</p>	決算	<p>決算総額 280,630 円</p> <p>(内訳) 報償費 0 円 旅費 0 円 消耗品費 90,770 円 印刷製本費 169,400 円 役務費 20,460 円</p>
評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設利用について閉鎖などの制限があったが、自主事業を2回実施することができた。 また、ガイド活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、養成講座を中止したり、ガイド活動の自粛などがあったが、活動再開後は登録しているガイド員が協力し合い、短い活動期間の中でも市内小学校や団体など、拡大防止を講じながら案内することができた。 ジュニアガイドの取り組みについては、地元小学校の総合的な学習として実施しているが、大人のガイドがツアー本番に向けての練習で子供たちにアドバイスするなど、地域と学校との連携が図られている。実際のツアー参加者は、大人顔負けの子供たちの気配り、丁寧な説明に感心していた様子だった。学校側としても今後も継続していきたいとのことであるので、連携し実施していきたい。</p>		
課題	<p>ガイド員の確保とガイドについての周知が課題である。</p>	今後の方針	<p>現ガイド員と協力しながら、ガイド員の確保と周知活動を行う。 様々な観光パンフレット等へ掲載してもらえるよう、関係部署と調整する。</p>



自主事業 大湊ネブタ展の様子



ジュニアガイドツアーの様子

事業名		埋蔵文化財発掘調査事業																																									
概要	遺跡(市内184ヶ所)における開発行為に対し、現場の事前確認や試掘などの予備調査を実施する。また、遺跡外であっても、大規模開発の場合には同様に予備調査を実施する。																																										
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○業者等の遺跡照会に対する窓口対応 ○遺跡内で開発行為が行われる場合及び遺跡外でも大規模開発等が行われる場合の事前協議を実施 ○状況に応じて予備調査(現場確認、踏査、試掘確認調査等)を実施する。 ○遺物展示会の実施 青森県埋蔵文化財調査センター、大畑町観光協会、ふるさとが大好き会と連携して大畑地区のこれまでの調査で見つかった資料の展示会を開催 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○業者等による照会件数：94件 ○遺跡の確認調査：1件 ○遺跡外の試掘調査：1件 →調査結果を踏まえ、遺跡の新規登録 ○遺跡の工事立会：1件 ○遺物展示会 令和2年9月12日(土)、13(日)に開催 見学者約100人 																																								
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>2,439,248 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>13,000 円</td> </tr> <tr> <td>給料</td> <td>820,088 円</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td>116,160 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>7,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>89,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>113,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>29,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,155,000 円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>97,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	2,439,248 円	(内訳) 報酬	13,000 円	給料	820,088 円	職員手当等	116,160 円	報償費	7,000 円	旅費	89,000 円	需用費	113,000 円	役務費	29,000 円	委託料	1,155,000 円	賃借料	97,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>2,345,493 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>13,000 円</td> </tr> <tr> <td>給料</td> <td>820,088 円</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td>116,160 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>13,103 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>110,545 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>20,797 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,155,000 円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>96,800 円</td> </tr> </table>	決算総額	2,345,493 円	(内訳) 報酬	13,000 円	給料	820,088 円	職員手当等	116,160 円	報償費	0 円	旅費	13,103 円	需用費	110,545 円	役務費	20,797 円	委託料	1,155,000 円	賃借料	96,800 円
予算総額	2,439,248 円																																										
(内訳) 報酬	13,000 円																																										
給料	820,088 円																																										
職員手当等	116,160 円																																										
報償費	7,000 円																																										
旅費	89,000 円																																										
需用費	113,000 円																																										
役務費	29,000 円																																										
委託料	1,155,000 円																																										
賃借料	97,000 円																																										
決算総額	2,345,493 円																																										
(内訳) 報酬	13,000 円																																										
給料	820,088 円																																										
職員手当等	116,160 円																																										
報償費	0 円																																										
旅費	13,103 円																																										
需用費	110,545 円																																										
役務費	20,797 円																																										
委託料	1,155,000 円																																										
賃借料	96,800 円																																										
評価	発掘調査にかかる人員不足があり、一連の体制を構築できない状況にある。予算要求をし、人員確保し、整備し対応したい。																																										
課題	<p>発掘調査を行い、整理作業を進め、報告書を刊行するという一連の体制が整っていない。 また、発掘作業員の確保に苦慮している。</p>	今後の方針	<p>必要な作業量から人員を割り出し、一連の体制づくりに向けて人員の確保を進めていく。また、発掘作業員に向けての養成講座を適宜開催することにより、発掘作業員の確保を進めていく。</p>																																								



地形測量の様子(二又川目遺跡)



調査風景(田名部館遺跡)

事業名		文化財・自然調査事業																					
概要	むつ市における貴重な動植物を継続調査することにより、生態系や希少生物の生息を把握する。また、その調査について文化財調査報告にまとめ情報発信する。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○各種調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・芦崎調査：5回 ・釜臥山周辺調査 ○文化財調査報告第50集の刊行 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○各種調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・芦崎調査：5回 ・釜臥山周辺調査：4回 ○文化財調査報告第50集 250部刊行 																				
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">866,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">325,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">20,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">509,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">12,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	866,000 円	(内訳) 報償費	325,000 円	消耗品費	20,000 円	印刷製本費	509,000 円	食糧費	12,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">613,847 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">252,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">24,400 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">327,250 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">10,197 円</td> </tr> </table>	決算総額	613,847 円	(内訳) 報償費	252,000 円	消耗品費	24,400 円	印刷製本費	327,250 円	食糧費	10,197 円
予算総額	866,000 円																						
(内訳) 報償費	325,000 円																						
消耗品費	20,000 円																						
印刷製本費	509,000 円																						
食糧費	12,000 円																						
決算総額	613,847 円																						
(内訳) 報償費	252,000 円																						
消耗品費	24,400 円																						
印刷製本費	327,250 円																						
食糧費	10,197 円																						
評価	県内の自治体において、埋蔵文化財調査以外での各種調査を継続して実施し、報告書にまとめているという実績があまりみられない。この報告書を市内の小中学校、郡内の県立高校、県内の自治体、図書館、博物館等に配付し、広く閲覧していただいている。また、この報告書をもとに、学校での学習（理科や社会など）、市民向けの講座で紹介し活用することができた。																						
課題	調査に携わる地元調査員の育成が課題である。	今後の方針	地元小中学校の教員に調査への参加を打診する。また、報告書を市内の学校で活用できるように周知する。																				

事業名		文化財保護関連事業、天然記念物保護関連事業													
概要	地域の貴重な文化財を後世に伝承すべく、各種調査、保護管理に努め、普及啓発を図る。また天然記念物について、文化財保護法の規定に基づく各種手続きを行いつつ、地域の実情を考慮した対応を執る。														
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財パトロール(県事業) <ul style="list-style-type: none"> ・県から委嘱された文化財保護指導員のパトロールに立ち会い、指導員や所有者等と密接に連携する。 ○カモシカ関係 <ul style="list-style-type: none"> ・死体の場合は死体処理、及び滅失届を作成する。 ・生体の場合は現場の状況に応じて見守り、保護等の対応と、通報者への説明を行う。 ○文化財防火デー(令和3年1月26日) <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁、消防庁が主唱する文化財防火デーに合わせ、各消防署、各指定文化財所有者等と連携して防火活動を実施する。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財パトロール 遺跡:99件 ○カモシカ関係 目撃情報:16件 滅失届:13件 ○文化財防火デー <ul style="list-style-type: none"> ・田名部地区(令和3年1月26日) 火災予防査察: 2件 ・大湊地区(令和3年1月26日) 火災防禦訓練: 常楽寺(火災予防査察も) ・川内地区(令和3年1月26日) 火災防禦訓練: 泉龍寺 火災予防査察: 4件 ・脇野沢地区(令和3年1月26日) 火災防禦訓練: 九艘泊船小屋休憩所 火災予防査察: 1件 												
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">50,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">10,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">40,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	50,000 円	(内訳) 報償費	10,000 円	需用費	40,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">30,416 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">30,416 円</td> </tr> </table>	決算総額	30,416 円	(内訳) 報償費	0 円	需用費	30,416 円
予算総額	50,000 円														
(内訳) 報償費	10,000 円														
需用費	40,000 円														
決算総額	30,416 円														
(内訳) 報償費	0 円														
需用費	30,416 円														

評価	文化財パトロール、文化財防火デーについては、例年通り滞りなく行われた。今後も継続し、危険予知運動を徹底する。カモシカの死体処理については、体力的にも心理的にもつらい仕事であるにもかかわらず、人員不足により対応が追いつかない状態である。		
課題	生体のカモシカに対応する場合、対応者及び周辺での事故の危険性がある。	今後の方針	他事例を参考に対応策を構築する。また、危険予知運動を徹底することにより事故の危険性を下げような対応を心がける。そして人員配置や業務委託についても検討していく。

事業名	重要文化財保存修理事業(二枚橋2遺跡出土品)																		
概要	平成24年9月に国の重要文化財に指定された「二枚橋2遺跡出土品」1,308点のうち、320点について、今後の保存活用のために修復する。																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○専門業者に委託して修復業務を実施する。業務を進める際は、文化庁の指導監督を受け、当市担当者が立ち会う。 <ul style="list-style-type: none"> ・石棒1点、石刀2点、石製玉25点の修復 ・上記修復資料を含む一括保存台計4点作製 ○情報発信 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○修復業務 <ul style="list-style-type: none"> ・石棒1点、石刀2点、石製玉25点の修復 ・一括保存台計5点作製 ・指導監督3回(開始前、中間、最終) ※感染症の影響で当市担当者の立会ができず、修復資料納品時に文化庁調査官が来庁、当市担当者も同席して最終確認 ○情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・別事業の遺物展示会時にパネルを作成して紹介 ・HP上で紹介 																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">3,193,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 旅 費</td> <td style="text-align: right;">356,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用 費</td> <td style="text-align: right;">10,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託 料</td> <td style="text-align: right;">2,827,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	3,193,000 円	(内訳) 旅 費	356,000 円	需用 費	10,000 円	委託 料	2,827,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">3,140,054 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 旅 費</td> <td style="text-align: right;">57,480 円</td> </tr> <tr> <td>需用 費</td> <td style="text-align: right;">90,574 円</td> </tr> <tr> <td>委託 料</td> <td style="text-align: right;">2,992,000 円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">※決算総額のうち1,570,000円は国庫補助額</p>	決算総額	3,140,054 円	(内訳) 旅 費	57,480 円	需用 費	90,574 円	委託 料	2,992,000 円
予算総額	3,193,000 円																		
(内訳) 旅 費	356,000 円																		
需用 費	10,000 円																		
委託 料	2,827,000 円																		
決算総額	3,140,054 円																		
(内訳) 旅 費	57,480 円																		
需用 費	90,574 円																		
委託 料	2,992,000 円																		
評価	新型コロナウイルス感染症により、修復の際に当市担当者の立ち会いができないことがあったが、それ以外は問題なく修復業務は滞りなく終了した。																		
課題	市民の社会教育向上のため国の重要文化財に指定された出土品を展示したいが展示できる場所がない。保存修理事業後の公開活用の構築に課題がある。	今後の方針	展示場等の整備について検討を進める。また、保存修理事業がある程度進んだ段階で、リーフレットの作成を目指す。																

事業名		重要文化財保存修理事業（旧大湊水源地水道施設）	
概要	重要文化財である旧大湊水源地水道施設の修理事業を実施する。 この修理事業は国庫補助金を活用し、平成28年度から令和5年度までの8年計画で実施する予定である。		
計画	○保存修理事業の実施 ・大近川取水所設計及び監理業務委託 ・大近川取水所保存修理工事 ・沈澄池堰堤上屋実施設計業務委託 ・沈澄池堰堤設計及び監理業務委託 ・沈澄池堰堤保存修理工事	実績・成果	○保存修理事業の実施 ・大近川取水所設計及び監理業務委託 ・大近川取水所保存修理工事 ・沈澄池堰堤上屋実施設計業務委託 ・沈澄池堰堤設計及び監理業務委託 ・沈澄池堰堤保存修理工事
予算	予算総額 17,967,000 円 （内訳） 報 酬 39,000 円 旅 費 365,000 円 消耗品費 10,000 円 委託料 6,155,000 円 使用料及び賃借料 24,000 円 工事請負費 11,374,000 円	決算	決算総額 7,436,111 円 （内訳） 報 酬 0 円 旅 費 0 円 消耗品費 9,680 円 委託料 3,913,000 円 使用料及び賃借料 23,431 円 工事請負費 3,490,000 円 決算総額のうち、3,701,000円は国庫補助金 ※1 委託料2,242,000円、工事請負費7,884,000円は令和3年度に繰越 ※2 令和元年度繰越分 委 託 料 8,974,800円 工事請負費 44,385,000円 計 53,359,800円 うち、26,680,000円は国庫補助金
評価	今年度は大雪等のため工事できない期間があり、繰越となった。来年度は、工期内での完了を目指す。		
課題	通常の土木工事と異なるため、計画どおりの進捗管理が難しい状況である。	今後の方針	工事の進捗を管理するため、定例で打合せを開催し、状況の把握に努め工期内での完成を目指す。

■ 生涯学習課の重点項目の評価 ■

<p>令和2年度の社会教育活動については、前期は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学習できる環境ではなかったが、後期は事業を実施することができ、参加者も多く充実したものとなった。</p> <p>文化財の保護と活用については、芸術文化活動が新型コロナウイルス感染症により思うようにできなかった。重要文化財旧大湊水源地水道施設保存事業については大雪の影響で完了できない部分もあった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症という制限のある中での難しい一年であり評価は難しいが、イベント開催時には多くの人が集まったことを考えると、学びたいという市民が多くいることが分かった一年であった。</p>

3 学校教育課

■ 重点項目の点検（令和2年度の具体的な取組状況） ■

（1）小中一貫教育の充実

事業名	小中一貫教育推進事業		
概要	次代を担う人づくりに資するために、小・中学校間の連携を重視した教育課程を編成し、9年間を一貫としてとらえた指導体制や教育環境を創るための研究を深化させるとともに、今後の進むべき方向性を市内小・中学校全職員で確認し、学力向上と生徒指導の充実を図る。		
計画	○市内の9つの中学校ブロックへ、小中一貫教育の充実に資する研究を依頼する。	実績・成果	○全9ブロックの研究実施計画書集及び研究実施報告書集の作成、配付 ○令和2年11月6日～11月7日 小中一貫教育全国サミット(福岡県飯塚市)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにより中止となった。 ○ブロック全員協議会を開催し小・中学校間の共通理解が図られている。 ○落ち着いた学校生活環境の中で充実した教育活動が実践されていることにより、生徒指導上の問題行動が減少し、さらに学力に関しても一定の成果が見られる。
予算	予算総額 30,000 円 (内訳) 負担金 30,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 負担金 0 円
評価	コロナ禍ではあったが、各ブロックでは、実状に合わせて工夫しながら小中一貫教育の取組を推進してきたことから、目的は達成できたといえる。		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等の増加に伴う教員の多忙化 ・合同行事での移動手段と時間の確保 	今後の方針	教員の多忙化解消に向け、学校訪問時に事業の精選等を依頼していく。 移動手段については、ブロックからの要請を受け、必要な場合市のバスを配車するよう検討している。

事業名		むつ市小中一貫教育推進委員会	
概要	小中一貫教育の各ブロックの進捗状況について情報を共有し、9つの各ブロック長と協議を重ね、より一層の推進を図る。		
計画	○9つの各ブロック長による評価委員会を3回開催し、ブロックごとの成果と課題を確認し合う。	実績・成果	○第1回推進委員会：書面協議 ・むつ市学校教育プラン（仮）に関するアンケート調査 ○第2回推進委員会：令和2年11月17日 ・アンケート結果についての説明 ○第3回推進委員会：令和3年2月9日 ・意識調査の結果についての共有 ・プラン策定に向けた協議 ○3回の推進委員会を通して他ブロックの取組等について共有できている。
予算	予算総額 98,000 円 (内訳) 旅 費 98,000 円	決算	決算総額 65,004 円 (内訳) 旅 費 65,004 円
評価	3回の会議のうち、1回は書面協議となったが、書面協議の内容を踏まえて、以後2回の推進委員会を開催し、新学校教育プランについての検討も進められたことから、目的は達成できたといえる。		
課題	意識調査の結果について、むつ市全体やブロックごとの集計結果を共有しているが、学校・ブロックの規模により、成果と課題が異なる。	今後の方針	推進委員会を今年度と同様の年3回開催し、各ブロックの規模に応じた小中一貫教育の在り方も踏まえた新しい教育プラン策定に向けた取組を進めていきたい。

事業名		小中一貫教育非常勤講師配置	
概要	小中一貫教育における乗り入れ授業（中学校教員による小学校での学習指導等）、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級（一人の教員による複数学年での指導）解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、非常勤講師として教員免許保持者を採用し各中学校ブロックに配置する。		
計画	○乗り入れ授業、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、非常勤講師として全9中学校ブロックに9人配置する。	実績・成果	○配置人数：全9中学校ブロックに1人ずつ配置 ○任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日 ○小学校における一部教科担任制や少人数指導、ティームティーチングなど、学校の実態に即した取組が進められている。
予算	予算総額 19,543,000 円 (内訳) 報 酬 16,671,000 円 期 末 手 当 1,240,000 円 旅 費 1,632,000 円	決算	決算総額 17,905,218 円 (内訳) 報 酬 16,199,476 円 期 末 手 当 1,207,795 円 旅 費 497,947 円
評価	各ブロックに配置された小中一貫教育非常勤講師は、ブロックの実状に応じて児童生徒の指導に当たった。児童生徒のアンケート結果からも90%程度のポジティブ評価を得られていることから、目的は達成できたといえる。		
課題	学校やブロックの規模により活用状況に違いはあるものの、学校からの要望は高い。しかし、教員免許を所持する適任者の確保がより難しい状況となっている。	今後の方針	配置者に対する学校での効果的な活用の工夫をお願いするとともに、全9中学校ブロックに継続して配置できるように、定年による退職教員へ積極的に周知するなど人材の確保に努める。

(2) 質の高い教育課程の創造

事業名		指導の方針と重点に関する指導・支援事業	
概要	「指導の方針と重点」に係る説明会・研修会の開催、説明冊子の発行・配付及び学校計画訪問等により、むつ市学校教育の課題である学力の向上と生徒指導の充実に向けた教育活動がより一層推進されるよう指導・支援を行う。		
計画	○説明会・研修会の開催、説明冊子の発行・配付、指導主事による学校訪問（計画・要請）、初任者がむつ市の教育施設等について学ぶふるさとの教育研修を実施する。	実績・成果	○説明会・研修会を各1回開催、説明冊子を全教職員へ配付した。 ○学校訪問時の方針と重点の説明については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から全体会の開催は避けため、全教職員に直接伝える事ができなかった。 ○初任者を対象としたふるさとの教育研修は「指導の方針と重点」に基づき、レポートを提出させる形で実施した。
予算	予算総額 149,000 円 (内訳) 消耗品費 24,000 円 印刷製本費 123,000 円 材料費 2,000 円	決算	決算総額 148,672 円 (内訳) 消耗品費 47,138 円 印刷製本費 99,825 円 材料費 1,709 円
評価	冊子は予定通り発行できたものの、周知について十分とはいえない状況であった。		
課題	全教職員に方針と重点を説明する機会を確保する。 冊子については、事業等についての説明も記載されており、教職員にとって使い勝手が良くなるよう、内容の精選も含めた改善が必要である。	今後の方針	次年度はこれまで同様計画訪問時に全体会を開催し、直接先生方に方針と重点について説明していきたい。 また次年度は、冊子の内容・体裁の改善・見直しを行っていく。

事業名		幼稚園・保育園と小学校の情報交換	
概要	小学校入学後3ヶ月程度の間、児童の情報交換を各小学校の実態に応じて行うことで児童理解を深め、指導改善を進める。		
計画	○入学後3ヶ月の間に、小学校ごとに幼稚園・保育園との新入学児童に関する情報交換を行い、入学後の児童への適切な指導ができるようにする。	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、ほとんどの小学校で実施した。 ○幼稚園・保育園から児童一人一人の状況を細かく聞き取り、その後の指導に役立てることができた。
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	情報交換について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から8月の開催はできなかったが、時期をずらして実施したとの報告を受けている。よって目的は達成できたといえる。		

課題	小1プロブレムの解消や児童一人一人の実態に応じた指導のためには、幼稚園・保育園との情報交換は必要であるが、小学校へは様々な園からの入学児童がいるため、情報交換に必要な費用弁償等の把握が難しく、予算化できなかった。	今後の方針	児童への指導や学級経営の充実のためには、幼稚園・保育園と小学校との連携は不可欠であり、今後も各学校の状況に応じた連携が図られるよう支援する。 費用弁償等については、今年度の実施状況を把握し、予算編成時に検討する。
----	--	-------	---

(3) 学力向上対策の充実

事業名		学力調査・知能検査実施事業	
概要	児童生徒対象の学力検査及び知能検査に関する実態把握を通し、学力向上に向けた基礎資料の作成を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ市総合学力調査を小学校5年生から中学校3年生まで実施する。 ○知能検査を小学校2年生、5年生、中学校1年生で実施する。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○4月に小学校2年生、5年生、中学校1年生を対象に知能検査を実施した。 ○7月に小学校5年生から中学校3年生までを対象に学力調査を実施した。結果送付の際、学力分析システムSYENのマニュアルを添付し、活用を促した。また、市全体の結果を分析したものを冊子にまとめ、教科ごとの授業改善の方向性を示した。
予算	予算総額 4,211,000 円 (内訳) 消耗品費 373,000 円 委託料 3,838,000 円	決算	決算総額 4,062,632 円 (内訳) 消耗品費 366,752 円 委託料 3,695,880 円
評価	予定通り実施することができ、目的は達成できたといえる。		
課題	総合学力調査の対象学年は小学校高学年以上であり、市の学力の全体像を捉えにくい面がある。	今後の方針	学力調査の対象学年に小学校4年生も入れ、より多くの学年の実態把握をもとにした授業改善ができるようにする。

※学力分析システムSYEN：個人及び集団の学力の状況を様々な視点から分析し、個々に応じた学習方法などを提示するシステム

事業名		活用力育成講座等の開催	
概要	むつ市学校教育の課題である活用力を育成するために、全国学力・学習状況調査等の実態に基づき、各教科における活用力の育成に向けた実践的な研修を行う。また、活用型問題集「ドリームワーク」について周知する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○活用力育成講座を開催する。（「むつ必修講座」として各校1名以上必ず参加） ○活用型問題集「ドリームワーク」の積極的活用を周知する。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○活用力育成講座 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和2年12月25日 ・参加者：21人 ・講師：東通村立東通小学校 校長 氣 仙 宏 先生 ・講義・演習：「国語科におけるストラテジー」 ○活用型問題集「ドリームワーク」については、各講座や研修会等で繰り返し周知を図った。
予算	予算額 0 円 (内訳) 旅 費 0 円	決算	決算総額 4,560 円 (内訳) 旅 費 4,560 円

評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場を変更して研修講座を実施した。講座後の評価アンケートでは、A評価が80%をこえるなど、目的を達成することができたといえる。		
課題	活用力育成に向けた方策が、より市内児童生徒の実態に応じたものになるように講座や問題集の内容を改善していく必要がある。	今後の方針	次年度は研修内容を夏休み以降の学習に生かせるよう、活用力育成講座を夏休み期間中の開催としたい。また、講座の方針や内容については、今後も課内で十分協議していく。活用型問題集については、新学習指導要領に対応した問題となるよう準備に入る。

事業名	学力向上関係研究大会参加		
概要	授業研究に関する全国規模の県外研修等に参加し、最新情報を得ることで教員の資質・能力を伸ばすとともに、校内研修を活性化することで、新学習指導要領への対応も含め、当市学校教育の課題である学力向上の改善を図る。		
計画	○各教科や学力向上に関する県外研修等の費用を、予算の範囲内において各校1名分助成する。(対象とする研修会は神奈川県以北とする。)	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
予算	予算総額 2,242,000 円 (内訳) 旅 費 2,242,000 円	決算	決算総額 0 円 (内訳) 旅 費 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学力向上関係研究大会参加を中止したことから、評価できない。		
課題	なし	今後の方針	県外研修に行くことが困難である状況をふまえ、リモートによる研究大会にも対応できるようにする。

事業名	デジタル教科書購入		
概要	児童生徒の学習面での課題(特に小学校算数)である思考力・判断力・表現力等の育成には、視聴覚機器を使用した活用型の授業改善が効果的なことから、デジタル教科書を購入する。		
計画	○むつ市の児童生徒の学力の向上を図るため、小学校で使用する教科書の改訂に伴い、小学校算数・社会・理科のデジタル教科書を購入する。	実績・成果	○小学校デジタル教科書購入 ・社会(5・6年) ・算数(全学年) ・理科(3・4・5・6年) ○実験や歴史上の出来事を動画で学ぶなど、授業改善に効果的である。
予算	予算総額 9,748,200 円 (内訳) 消耗品費 9,748,200 円	決算	決算総額 10,333,400 円 (内訳) 消耗品費 10,333,400 円
評価	小学校の教科書改訂に合わせ、教員の使用頻度も勘案してデジタル教科書を購入して各校に配付することができたことから、目的を達成できたといえる。		
課題	新学習指導要領の完全実施に伴い、中学校への新たなデジタル教科書の配備が必要である。	今後の方針	新学習指導要領の改訂により、令和3年度から中学校で使用する教科書が新しくなるため、新たにデジタル教科書(国語・社会・地図・数学)を市内の中学校9校に配備する。

事業名		新聞を活用した学習への支援事業	
概要	むつ市の小・中学生が新聞に親しみ、新聞を読む習慣を身に付けるとともに、授業等で新聞を活用した教育活動を推進するため、市内全ての小・中学校全学年（特別支援学級を含む）を対象に各学校の希望数により新聞を配備する。		
計画	○市内小・中学校の希望する学級（特別支援学級を含む）に新聞を配備する。	実績・成果	○新聞配備部数 小学校：89部 中学校：77部 ○出前授業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。 ○学校では、短学活でのニュース発表や各教科の学習、個人新聞の作成や興味のある記事をスクラップにするなど、児童生徒の実態に応じて多様な活用をした。
予算	予算総額 3,344,000 円 (内訳) 消耗品費 3,344,000 円	決算	決算総額 3,262,916 円 (内訳) 消耗品費 3,262,916 円
評価	アンケート結果から本事業を通して新聞を毎日読むようになったと回答した児童生徒の割合が、前年度より4ポイント上昇するなど事業の効果が見られた。		
課題	読解力や情報リテラシーの一層の向上を図るために、各学校からは複数紙の購読ができるよう要望が上がるが、要望に添った新聞配備ができていない。	今後の方針	学校で新聞と児童生徒を結びつけていく機会を増やしていけるよう、今後も各学校からの購読希望部数に最大限応じたい。また、複数紙を読み比べることができるよう配慮していきたい。

※出前授業：新聞記者が学校を訪れ、記者の仕事や発行の様子等について授業を行う取組。



小中一貫教育推進委員会

(4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化

事業名		生徒指導検査実施			
概要	<p>学校環境適応感尺度「アセス」を実施し、児童生徒の対人関係能力を育成するとともに、学校の人的環境への適応を促進する。</p> <p>「いじめ・不登校対策研修講座」を開催し、いじめ・不登校の具体的な支援策およびリスクの高い児童生徒への個別の対応について講義と演習を行い、教員の指導力の向上を目指す。</p>				
計画	<p>○検査対象 小学校3年生から中学校3年生</p> <p>○「いじめ・不登校対策研修講座」で不登校への対応とSOSの出し方に関する方法を学び、各校で実践する。</p>	実績・成果	<p>○市内すべての小・中学校で各校の実態に合わせ「アセス」を実施した。また、各学校で全学年対象の生活アンケート等も定期的実施し、児童生徒の支援につなげている。</p> <p>○成果と課題をまとめた生徒指導検査実施報告書を年度末に作成し、教育系イントラネット上に掲載することで校内研修の一助とした。</p>		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円
評価	<p>報告書によると、各学校では、生徒指導検査の結果を生かしてその後の相談活動を行っていることから、目的は概ね達成できたといえる。</p>				
課題	<p>市内すべての小・中学校で「アセス」を実施することができた。今後も「アセス」と各学校独自の生活アンケートを組み合わせながら、児童生徒の困り感を早期にキャッチし、適切な支援につなげていく必要がある。</p>	今後の方針	<p>「アセス」に加え、生活アンケートや教育相談の実施など児童生徒の状況を多様な方法で把握し、学年・学級経営や生徒指導の充実に努めていくよう、各校に啓発していく。</p>		

※学校環境適応感尺度「アセス」：児童生徒の学級での適応状態や満足度を測る心理検査

事業名		いじめ問題対策委員会開催	
概要	<p>むつ市のいじめ防止基本方針に基づく対策について、実施状況を定期的に点検及び評価し、不断の見直しを行う。</p>		
計画	<p>○いじめ問題対策委員会を開催する。 (年1回、委嘱期間2年)</p>	実績・成果	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催</p> <p>・前年度のいじめ防止に関する取組の報告と今年度の取組の予定について確認いただいた。</p>
予算	<p>予算総額</p> <p>(内訳) 報酬 46,000 円</p> <p>旅費 20,000 円</p> <p>負担金 30,000 円</p>	決算	<p>決算総額</p> <p>(内訳) 報酬 0 円</p> <p>旅費 0 円</p> <p>負担金 30,000 円</p>
評価	<p>書面開催となったものの、いじめ問題に関する委員の方々の意識が高く、特にネットやSNSを介したいじめについて多くの意見が寄せられた。実施状況について点検、評価していただくという観点から、目的は達成できたといえる。</p>		
課題	<p>各校のいじめ防止基本方針及びいじめ防止プログラムの点検と見直しが実態に応じて進められているかを確認し、必要な情報を適宜提供していく必要がある。</p>	今後の方針	<p>本委員会が出された意見や要望について、校長会と教育委員会との合同会議や、生徒指導担当者が出席する学校警察連絡協議会の定例協議会等を利用し、各校への周知を図る。</p>

事業名		むつ市いじめ防止宣言フォーラム開催	
概要	「いじめ根絶」に向けた児童・生徒会活動に対する理解を深めるとともに、児童生徒をいじめから守り、市民総がかかりでいじめ防止に取り組むという意識の啓発を図る。		
計画	○令和2年11月10日 ・大湊中学校ブロック	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。（令和3年度に延期）
予算	予算総額 30,000 円 （内訳） 消耗品費 30,000 円	決算	決算額 0 円 （内訳） 消耗品費 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、いじめ防止宣言フォーラムを中止したことから、評価できない。		
課題	なし	今後の方針	開催校を通して、フォーラムの開催案内を保護者・地域の方に広く周知するとともに、終了後にフォーラムの様子をリーフレットやむつ市HPへの掲載を継続していく。

（5）特別支援教育体制の充実

事業名		スクールサポーター配置事業	
概要	小・中学校の通常学級並びに特別支援学級に在籍する多動傾向や要介助など、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活や学習活動を支援するため、各学校にスクールサポーターを配置し、特別支援教育体制の充実に努める。		
計画	○33人を配置する。 ○1日6時間以内、年間1,218時間以内で活用する。	実績・成果	○配置人数：33人 ・小学校：8校 25人 ・中学校：4校 8人 ○任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日 ○1日6時間以内、年間1,218時間以内で活用した。
予算	予算総額 46,249,000 円 （内訳） 報酬 38,951,000 円 期末手当 3,578,000 円 旅費 3,720,000 円	決算	決算総額 44,958,336 円 （内訳） 報酬 40,313,992 円 期末手当 3,575,649 円 旅費 1,068,695 円
評価	校長による勤務評定や、教員のアンケート結果から、児童生徒への支援におけるスクールサポーターの重要性を確認することができた。目的は達成できたといえる。		
課題	採用を予定していたスクールサポーターが急遽辞退し、必要な人員が確保できない状況だったが、応募があつて何とか配置できた経緯がある。人材確保に向けた取組が必要である。	今後の方針	今後もハローワークへの求人票提出や市HPへの掲載等、人材確保に取り組んでいく。

事業名		就学事務説明会・就学相談研修会開催	
概要	未就学児及び児童生徒の適切な就学に向けて、保育所（園）・幼稚園と小・中学校が連携しながら、見通しをもって、より充実した就学相談及び就学指導を行うことができるようにする。		
計画	○市内小・中学校の特別支援教育コーディネーター及び保育所（園）・幼稚園の就学相談担当者を対象に就学指導説明会・就学相談研修会を開催する。	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
予算	予算総額 14,000 円 (内訳) 報 償 費 6,000 円 旅 費 8,000 円	決算	決算総額 0 円 (内訳) 報 償 費 0 円 旅 費 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、就学事務説明会、就学相談研修会を中止したことから、評価できない。		
課題	なし	今後の方針	保育所（園）・幼稚園と小・中学校それぞれのニーズに応じた説明会・研修会を実施する。

事業名		特別支援教育推進委員会開催	
概要	特別支援教育推進委員会を開催し、適切な教育環境のもとで能力及び特性に応じたきめ細かな指導や、適切な就学ができるよう指導・助言を行う。また、総合判断並びに学校の要請による専門検査及び医学検査を実施する。		
計画	○定例会は年4回の開催だが、必要に応じ、臨時の特別支援教育推進委員会を開催する。委員会の総合判断の結果を教育長に具申する。	実績・成果	○定期開催：4回 ・第1回：令和2年5月14日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して開催（委員長、副委員長、事務局の参加） ・第2回：令和2年9月17日 委員13人 専門調査員6人 ・第3回：令和2年11月28日 委員15人 専門調査員7人 ・第4回：令和3年2月13日 委員14人 ○臨時開催：7回 ○対象児童生徒数：64人
予算	予算総額 780,000 円 (内訳) 報 酬 134,000 円 旅 費 485,000 円 消耗品費 70,000 円 手数料 75,000 円 負担金 16,000 円	決算	決算総額 518,758 円 (内訳) 報 酬 71,500 円 旅 費 349,300 円 消耗品費 65,458 円 手数料 16,500 円 負担金 16,000 円

評価	推進委員会での判断に資するため、事務局が学校や園と情報共有し、支援が必要な子供とその保護者との面談や検査を適切に遂行することができた。目的は達成できたといえる。		
課題	<p>専門検査を必要とする児童生徒が増加する一方で、検査を行うことができる教員(特にWISCIV)が不足している。また、一つの学校に委員、専門調査員が複数いる状況も見られ、同時に推進委員会に出席することが難しい場合がある。</p>	今後の方針	<p>専門調査員の人数確保のため、「心理検査を生かした指導改善研修講座」の充実や退職者への依頼等を継続していく。また、検査資格取得のための遠方への研修参加に対する支援体制の整備を検討する。</p>

(6) 教育相談活動の充実

事業名	むつ市教育相談室開設		
概要	いじめや不登校などの悩みを抱える児童生徒及び保護者、教職員に対する一般教育相談・就学相談並びに適応指導などを行うことによって、児童生徒が健全に成長するよう援助する。		
計画	<p>○むつ市教育研修センターに教育相談員2人を配置する。 ○むつ市教育研修センターにむつ市教育相談室を開設し、教育相談員を中心に児童生徒とその保護者、学校関係者に対する相談業務を行う。</p>	実績・成果	<p>○教育相談員配置人数：1人 ○任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日 ○教育相談件数 ・来室：910件 ・電話：15件 ・メール：2件</p>
予算	<p>予算総額 2,977,000 円 (内訳) 報酬 2,489,000 円 期末手当 189,000 円 報償費 56,000 円 旅費 243,000 円</p>	決算	<p>決算総額 1,362,308 円 (内訳) 報酬 1,267,960 円 期末手当 94,348 円 報償費 0 円 旅費 0 円</p>
評価	児童生徒のみならず、保護者とも面談を行い、悩みや不安に寄り添い、状況に応じて適切なアドバイスをすることができた。目的は達成できたといえる。		
課題	<p>不登校に関する相談の場合、教育相談のみで終結しないケースに関しては、適応指導教室の見学や通室を提案し、再登校に向けて適切な支援をする必要がある。 教育相談室が、通室する児童生徒と保護者に対して定期的な面談を実施し、学校に情報提供することで、学校につなぐ役割を果たす必要がある。</p>	今後の方針	<p>今後、保護者面談等の一層の充実を図るために、教育相談室と適応指導教室の運営体制を更に改善し、一人一人に応じた長期目標と短期目標を明確にすることで、より見通しをもった指導ができるようにする。 今年度は教育相談員が1名の配置となり、教育相談室担当の指導主事も面談業務にあたることで過度の負担とならないよう配慮したが、次年度は2名体制となるよう人材の確保に努める。</p>

事業名		自立支援相談員配置事業	
概要	不登校などの悩みを抱える児童生徒に対して家庭訪問や学校訪問を行い、教育相談活動を実施する。また、適応指導教室に通室している児童生徒の実情を細かく把握し、適切な援助を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ市教育研修センターに自立支援相談員を6人配置する。 ○不登校または不登校傾向にある児童生徒への支援の充実を図る。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○自立支援相談員配置人数：6人 ○任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日 ○適応指導教室通室生7人に対し、延べ1,530時間程度の支援を行った。
予算	予算総額 8,713,000 円 (内訳) 報酬 7,281,000 円 期末手当 651,000 円 旅費 781,000 円	決算	決算総額 7,198,922 円 (内訳) 報酬 6,574,365 円 期末手当 566,769 円 旅費 57,788 円
評価	来室した児童生徒に寄り添い、登校時に同行するなど積極的な支援を行うことができた。目的は達成できたといえる。		
課題	自立支援相談員の人員の入れ替えにより、通室生に対する支援力が下がらないよう工夫が必要である。 適応指導教室に通室する児童生徒が増加傾向にあるため、適切に対応していく必要がある。	今後の方針	自立支援相談員の通室生への支援力を高めるため、教育相談に関する研修を実施し、適切な支援が行えるようにする。 様々なケースに適切に対応するため、チーム支援体制を強化する。



活用力育成講座

事業名		適応指導教室開設	
概要	むつ市教育相談室に適応指導教室を開設し、不登校をはじめとする学校不適応などの課題を抱える児童生徒の学校復帰に向けた指導と支援を行う。		
計画	○不登校等の悩みを抱える児童生徒への支援の充実を図る。	実績・成果	○適応指導を受けた児童生徒：27人 ○実施した行事等 開閉級式、始業式、終業式、音楽教室、スポーツ教室、野外体験活動、科学技術館体験活動、文化祭、クリスマス会、郷土の料理体験教室、お話を聞く会、お楽しみ会
予算	予算総額 112,000 円 (内訳) 消耗品費 100,000 円 食糧費 5,000 円 使用料 2,000 円 負担金 5,000 円	決算	決算総額 108,281 円 (内訳) 消耗品費 100,911 円 食糧費 1,230 円 使用料 1,140 円 負担金 5,000 円
評価	来室した児童生徒に寄り添い、学校復帰に向けたきめ細かい支援を行うことができた。目的は達成できたといえる。		
課題	通室生の学校復帰に向けて、個に応じたきめ細かな支援体制を構築する必要がある。	今後の方針	個別の支援計画を基に、組織的・計画的な支援を継続して行う。 適応指導プログラムにSELのエクササイズを取り入れる等充実させることで、学校復帰に向けて必要なスキルと内面的なエネルギーを蓄えられるようにする。

※SEL (Social and Emotional Learning) :相手の表情やしぐさなどから感情を量ることを学び、他者への思いやりや気遣いといった社会的能力を身に付けるための心理教育プログラム

(7) 国際化に対応する教育と、郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進

事業名		外国語指導助手 (ALT) 派遣事業	
概要	小学校での外国語活動、中学校での英語科、小・中学校における諸活動にALTを派遣することによって、日常的な国際理解教育の充実を目指す。		
計画	○ALT 5人のうち、小学校に4人、中学校に1人を配置し、外国語活動、英語科の授業等において活用を図る。	実績・成果	○ALT配置人数 ・小学校：4人 ・中学校：1人 ○1学級あたりの年間活用時間 ・小学校：約30時間 ・中学校：約15時間 ○市内小学校6年生を対象とした英会話ワークショップ“Enjoy English”については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施である。
予算	予算総額 19,641,000 円 (内訳) 報酬 18,032,000 円 旅費 1,028,000 円 負担金 581,000 円	決算	決算総額 19,498,602 円 (内訳) 報酬 18,585,120 円 旅費 332,882 円 負担金 580,600 円

評価	小学校での外国語学習が本格化したことから、ALTの派遣についてもニーズが高まってきている。児童生徒へのアンケート結果でポジティブ評価が90%をこえたことから、目的を達成できたといえる。		
課題	昨年度から、小学校の外国語活動、外国語科の時間が増えた結果、各小学校の1学級あたりの派遣回数が減り、授業時数の42%程度となっており、派遣計画の見直しを図る必要がある。	今後の方針	児童生徒の充実した学びを確保するために、学校規模に応じた派遣計画を作成した。今後も学校からの要望をうかがいつつ、派遣回数等について検討していく。

事業名		むつ市ジュニア大使派遣事業																																									
概要	むつ市内の中学生をアメリカ合衆国ポートエンジェルス市に派遣し、姉妹都市交流の充実を目指すとともに、次代を担う人材の育成を図る。																																										
計画	○中学生10人を7日間の行程で派遣する。 ○事前・事後研修会、結団式、報告会の開催及び報告書を作成する。	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施																																								
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>8,216,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>90,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>2,542,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>54,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>180,000 円</td> </tr> <tr> <td>郵便宅配料</td> <td>6,000 円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>10,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>5,274,000 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>10,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	8,216,000 円	(内訳) 報償費	90,000 円	旅費	2,542,000 円	消耗品費	50,000 円	印刷製本費	54,000 円	食糧費	180,000 円	郵便宅配料	6,000 円	手数料	10,000 円	委託料	5,274,000 円	使用料	10,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算額</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>郵便宅配料</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	決算額	0 円	(内訳) 報償費	0 円	旅費	0 円	消耗品費	0 円	印刷製本費	0 円	食糧費	0 円	郵便宅配料	0 円	手数料	0 円	委託料	0 円	使用料	0 円
予算総額	8,216,000 円																																										
(内訳) 報償費	90,000 円																																										
旅費	2,542,000 円																																										
消耗品費	50,000 円																																										
印刷製本費	54,000 円																																										
食糧費	180,000 円																																										
郵便宅配料	6,000 円																																										
手数料	10,000 円																																										
委託料	5,274,000 円																																										
使用料	10,000 円																																										
決算額	0 円																																										
(内訳) 報償費	0 円																																										
旅費	0 円																																										
消耗品費	0 円																																										
印刷製本費	0 円																																										
食糧費	0 円																																										
郵便宅配料	0 円																																										
手数料	0 円																																										
委託料	0 円																																										
使用料	0 円																																										
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ジュニア大使派遣事業を中止したことから、評価できない。																																										
課題	なし	今後の方針	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止せざるを得ない場合は、オンラインによる交流を検討していく。																																								

事業名		中華民国陽明国民中学との友好交流事業			
概要	旧川内町立川内中学校と中華民国陽明国民中学の姉妹校交流を引き継ぎ、中華民国から中学生と教職員を受け入れ、学校訪問をとおして交流を図る。				
計画	○中華民国陽明国民中学からの訪問団を受け入れ、学校訪問等をとおして交流する。	実績・成果	○訪問無し (中華民国陽明国民中学から、諸事情により訪問できなくなった旨の連絡があった。)		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円

評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、陽明国民中学との友好交流事業を中止したことから、評価できない。		
課題	なし	今後の方針	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止せざるを得ない場合は、オンラインによる交流を検討していく。

事業名	ジオパーク体験活動推進事業																																						
概要	ジオサイトの見学やジオサイトに関する学習を実施する小・中学校に対して、移動に要するバス借上料や教材等の活動費等を助成する。																																						
計画	○ジオサイトを活用した校外学習にあたって、必要な経費の一部を助成する。	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休校により、行事の中止や延期、変更を余儀なくされた学校もあり、小学校6校、中学校4校の補助となった。また、体験活動やジオサイトの見学を変更し、調べたことをノートや新聞、班ポスター等にまとめる学校も多かった。 ○本事業を活用していない小・中学校でも地域学習は継続的に行われている。																																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>2,000,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>66,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>78,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>260,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>自動車借上料</td> <td>1,596,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>恐山入山料</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	2,000,000	円	(内訳) 報償費	66,000	円	旅費	78,000	円	消耗品費	260,000	円	自動車借上料	1,596,000	円	恐山入山料	0	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>1,203,332</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>215,592</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>自動車借上料</td> <td>982,740</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>恐山入山料</td> <td>5,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	1,203,332	円	(内訳) 報償費	0	円	旅費	0	円	消耗品費	215,592	円	自動車借上料	982,740	円	恐山入山料	5,000	円
予算総額	2,000,000	円																																					
(内訳) 報償費	66,000	円																																					
旅費	78,000	円																																					
消耗品費	260,000	円																																					
自動車借上料	1,596,000	円																																					
恐山入山料	0	円																																					
決算総額	1,203,332	円																																					
(内訳) 報償費	0	円																																					
旅費	0	円																																					
消耗品費	215,592	円																																					
自動車借上料	982,740	円																																					
恐山入山料	5,000	円																																					
評価	校長会との合同会議で事業について周知し、半数程度の学校から申請があった。予算編成の段階では全小中学校を対象としているため、目的の達成度も半分程度であったといえる。																																						
課題	体験活動の事前・事後学習の充実を図るため、ガイドや講師を活用する学校が増えてきている。これらの学校の実践を報告書で取り上げ、継続して各学校に紹介して活用を広めていく必要がある。	今後の方針	ジオパーク体験活動を一層推進するため、事前・事後活動でのガイドや講師の活用や本事業について、学校に周知していく。																																				

(8) 教育研修センター講座等の充実

事業名		教職員研修講座開設	
概要	<p>教職員の専門性や資質の向上を図り、実践的な指導力を高めるために授業改善等に係る研修講座を開催する。 また、講座内容の改善を図るため、各講座担当指導主事が全国的な研修会に参加する。</p>		
計画	<p>○弘前大学教育学部との連携による授業づくり講座など18講座を開催する。 ○各講座担当指導主事が全国的な研修会に参加する。</p>	実績・成果	<p>○開設講座：8講座 計画では18講座を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催時期を冬季休業中に移動するとともに、講座数も限定して開催した。 ○受講者数：延べ221人 ○全国的な研修会への参加 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため派遣中止</p>
予算	<p>予算総額 893,000 円 (内訳) 報償費 136,000 円 旅費 737,000 円 消耗品費 20,000 円</p>	決算	<p>決算総額 35,961 円 (内訳) 報償費 0 円 旅費 16,206 円 消耗品費 19,755 円</p>
評価	<p>指導主事の全国的な研修会への派遣は中止した。研修講座も18の講座を開設予定であったが、8講座の開設に止まった。しかし、講座後の評価アンケートではA評価が80%をこえるなど、受講者からは概ね好評であった。</p>		
課題	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を踏まえて講座を開催する必要がある。</p>	今後の針	<p>研修講座は基本的にむつ市教育研修センターで開催しているが、受講者が多くなることが予想される講座については、別会場で開催する。</p>



社会授業づくり講座

(9) 弘前大学との連携強化

事業名		教育研修センター講座等連携																	
概要	<p>弘前大学教育学部との連携による国語、算数・数学、社会、理科、外国語活動・英語の「授業づくり講座」を実施し、下北・むつ市内の各小・中学校から必修で参加する中で、思考力・判断力・表現力等の育成を中心とした活用型の授業づくりを推進する。</p> <p>また、「心と体の健康教育講座」を実施し、子供の心と体に関する今日的な課題への対応を進める。</p>																		
計画	<p>○5教科の授業づくり講座と養護教諭等を対象とした健康づくりに関する講座を開催し、テーマを活用型の授業づくりの研修会とする。小規模校からの参加にあたっては、過度な負担を課さないよう配慮する。</p>	実績・成果	<p>○受講者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語：27人 ・算数・数学：30人 ・社会：24人 ・理科：26人 ・外国語活動・英語：23人 ・心と体の健康教育：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止 <p>○受講者アンケート (4件法によるA評価の割合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語：56% ・算数・数学：77% ・社会：86% ・理科：69% ・外国語活動・英語：83% ・心と体の健康教育：休止 <p>○授業づくり講座では、弘前大学からの講師招聘を休止し、市教委指導主事等による講義を実施した。</p>																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>295,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>136,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>139,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>20,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	295,000 円	(内訳) 報償費	136,000 円	旅費	139,000 円	消耗品費	20,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>35,961 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>16,206 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>19,755 円</td> </tr> </table>	決算総額	35,961 円	(内訳) 報償費	0 円	旅費	16,206 円	消耗品費	19,755 円
予算総額	295,000 円																		
(内訳) 報償費	136,000 円																		
旅費	139,000 円																		
消耗品費	20,000 円																		
決算総額	35,961 円																		
(内訳) 報償費	0 円																		
旅費	16,206 円																		
消耗品費	19,755 円																		
評価	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、弘前大学教育学部との連携による講座の開催は断念せざるを得なかったが、開催時期と講師を変更して講座を実施することができ、講座後の評価アンケートでもA評価が80%をこえるなど、受講者からは概ね好評であった。</p>																		
課題	<p>中学校でも新学習指導要領が完全実施となる次年度は、授業改善について教員の理解を深める意味でも、講座内容の充実に取り組む必要がある。</p>	今後の方針	<p>弘前大学教育学部には、講座で教員に高めさせたい資質やスキルを明確に示し、ねらいに沿った形での講義を依頼したい。</p>																

事業名		ラボ・バス実験教室	
概要	ラボ・バス実験教室では、科学実験を行うことをとおして科学への関心を高めるとともに、大学生との交流によるキャリア教育の充実を図る。		
計画	○第二田名部小学校を対象とし、弘前大学教育学部の教授、学生等が指導する「ラボ・バス実験教室」を開催する。	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
予算	予算総額 48,000 円 (内訳) 消耗品費 48,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 消耗品費 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ラボバス実験教室を中止したことから、評価できない。		
課題	なし	今後の方針	新型コロナ感染症拡大防止対策を万全に行った上で、複数校の合同開催の在り方を工夫し、各学校の業務の負担軽減を図る。また、他校との交流を深めながら児童生徒が楽しく活動できるようにする。

※ラボ・バス：弘前大学が制作したバスで、「走る実験室」とも呼ばれ、電子顕微鏡等の科学機器を搭載し、県内各地で実験教室を開催している。

事業名		「健康の未来」を変えるプロジェクト授業	
概要	社会医学の第一人者である弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授の協力を得て、むつ市の健康課題の解決に向けた系統的な授業モデルと推進体制の構築に向け取り組む。 健康教育の授業を年間複数回TT（ティームティーチング）で行う。		
計画	○実施校の選定を行う。 ○開催に向けて日程調整を行う。 ○保護者の参加を呼びかける。	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
予算	予算総額 97,000 円 (内訳) 旅 費 17,000 円 消耗品費 80,000 円	決算	決算額 0 円 旅 費 0 円 消耗品費 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「健康の未来」を変えるプロジェクト授業を中止したため、評価できない。		
課題	なし。	今後の方針	食育、運動、睡眠など、各教科よりも総合的な観点で授業ができること、専門の先生の助言をいただけることを中心に、各学校に対してアピールし、実施校を決定していく。

(10) キャリア教育の充実

事業名		むつ市子ども夢育成基金	
概要	むつ市の小・中学生の文化、芸術、スポーツ、体験事業・研修派遣等を積極的に支援し、むつ市を担う子供たちを育成するための安定的財源確保を目的とした基金を設立する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ市の小・中学生の文化・芸術活動大会派遣に補助する。 ○むつ市の小・中学生のスポーツ活動大会派遣に補助する。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ市の小・中学生の文化・芸術活動大会派遣補助 264,000円 ・声楽アンサンブルコンテスト全国大会 ○むつ市の小・中学生のスポーツ活動大会派遣補助 131,200円 ・東北中学校体育大会（ソフトテニス） ・全国中学校体育大会等（陸上） ○基金積立金 1,900,000円 ○寄附金積立金 5件 638,945円 ○利子収入積立金 906円 ○令和2年度末基金残高 9,287,797円 ※令和元年度末基金残高 9,043,146円
予算	予算総額 10,025,000 円 （内訳） 補助金 5,000,000 円 積立金 5,025,000 円	決算	決算総額 1,035,051 円 （内訳） 補助金 395,200 円 積立金 639,851 円
評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、申請数は例年より少なかったものの、適正に支出することができたため、目的を達成できたといえる。		
課題	事業を継続していくための財源の確保と、補助の申請が団体だけでなく個人でもできることを周知していく必要がある。	今後の方針	むつ市夢育成基金についてホームページや広報むつで周知し、申請書類等もホームページからダウンロードできるよう整備していく。

事業名		むつ市こども議会	
概要	むつ市の小学生が、議会傍聴をとおして市政と市議会のしくみを理解するとともに、次代を担う市民としての自覚を深める機会とする。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○市内小学校6年生30名をこども議員とし、学校規模に合わせて各校1～4名を募集する。 ○9月議会の一般質問（最初の議員1名）を傍聴する。 	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。
予算	予算総額 34,000 円 （内訳） 旅費 34,000 円	決算	決算額 0 円 （内訳） 報償費 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、むつ市こども議会を中止したことから、評価できない。		
課題	なし	今後の方針	新型コロナウイルス感染症への対応により、議会傍聴が制限されているが、可能な限り多くの児童が議場で傍聴できるようにしていく。

事業名		むつ市中学生夢はぐくむ体験入学	
概要	<p>大学での体験活動をとおして、将来の職業に対する意識と学習意欲を向上させるとともに、各中学校でのキャリア教育推進の一助とする。</p> <p>地域の医療や住民の健康状態等の現状と課題を知らせ、健康に対する意識を高め、健康的な生活を送る態度を育てるとともに、地域の課題解決に向けて積極的に関わろうとする意欲を持たせる。</p>		
計画	<p>○青森中央学院大学で体験活動を行う。</p> <p>○対象となる市内中学生を募集する。 (定員30人)</p>	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。
予算	<p>予算総額 24,000 円</p> <p>(内訳) 食糧費 24,000 円</p>	決算	<p>決算額 0 円</p> <p>(内訳) 食糧費 0 円</p>
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、むつ市中学生夢はぐくむ体験入学を中止したことから、評価できない。		
課題	なし	今後の方針	新型コロナウイルス感染症の感染状況も踏まえながら、中学生にとって魅力的な内容となるよう、大学の担当者と綿密に打ち合わせをしながら計画を立てていく。

事業名		関係機関との連携（理科教室、海洋教室）	
概要	<p>海洋研究開発機構むつ研究所による海洋教室や、東北放射線科学センターによる理科教室を行うことにより、科学への関心を高めるとともに、研究者との交流をとおして、夢と希望を育てる。</p>		
計画	○小・中学校において、海洋教室及び理科教室を開催する。	実績・成果	<p>○海洋教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年11月6日 大畑小学校5・6年生 : 63人 正津川小学校6年生 : 4人 二枚橋小学校4・5年生 : 2人 <p>○理科教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	<p>下北の各地域で採取した砂の違いを、実体顕微鏡を使って観察する活動を行い、採取された場所によって粒の大きさや形、色などが異なることに気づき、興味をもって観察に取り組む様子が見られた。児童のアンケート結果からポジティブ評価が100%であったことから、目的を達成できたといえる。</p>		
課題	<p>科学への関心を高めるとともに、専門家との交流を通じて夢と希望をはぐくめるよう運営の工夫を図る必要がある。</p>	今後の方針	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を万全に行った上で、複数校の合同開催の在り方を工夫し、他校との交流を深めながら科学への関心を高め、児童生徒が楽しく活動できるよう関係機関と連携していく。</p>

事業名		キャリア教育推進事業	
概要	キャリア教育の一環として、むつ下北または青森県出身者を中心に全国的な活躍をしている方の講話を聴く体験をとおして、将来の職業に対する意識や学習意欲を向上させ、本市の未来を担う人材を育成することにつなげる。		
計画	○実施校の選定を行う。 ○開催に向けて日程調整を行う。	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
予算	予算総額 1,125,000 円 (内訳) 報 償 費 462,000 円 旅 費 663,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 報 償 費 円 旅 費 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、キャリア教育推進事業を中止したことから、評価できない。		
課題	なし	今後の方針	今後も、市内小中学校で講演を実施する予定であるが、コロナ禍の状況に鑑み、むつ市及び下北地域の方に講師を依頼していく。

■ 学校教育課の重点項目の評価 ■

<p>学校では、ジオパーク体験学習など、児童生徒がふるさとを知り、ふるさとの為に何ができるのかを考えさせる教育活動や、キャリア教育に関わる学習活動を通して、夢や目標をもち、その実現に向けて努力する態度を育成する教育活動の実践に努めている。学校教育課としては、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる事業があったものの、可能な範囲でそれらの教育活動の充実に資する事業を進めてきた。</p> <p>今後も、児童生徒が主体的に未来を切り拓くために必要な、思考力・判断力・表現力等の活用力の育成や、新しい時代に対応するICT活用能力等の向上に向けて、学校に道筋を示し、必要な方策を講じていく。</p>

4 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）

■ 重点項目の点検（令和2年度の具体的な取組状況） ■

（1）公民館の適正管理と運営の充実

事業名		地区館長会議の開催	
概要	地区公民館長の会議において、適正な地区公民館の運営についての協議を行うとともに、年間の事業計画及び報告等を行う。		
計画	○川内地区公民館長会議、大畑地区公民館長会議を開催し、年間の事業説明及び適正な地区公民館運営についての説明を行う。	実績・成果	○川内地区公民館長会議 ・開催日：令和2年10月15日 ・開催場所：川内公民館 ・出席者：地区公民館長 12人 事務局 2人 ○大畑地区公民館長会議 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
予算	予算総額 905,000 円 (内訳) 報 酬 840,000 円 旅 費 65,000 円	決算	決算総額 840,000 円 (内訳) 報 酬 840,000 円 旅 費 0 円
評価	川内地区館長会議は例年通り開催したものの、大畑地区館長会議については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催しなかった。		
課題	地区公民館の老朽化が進み、安全・安心に利用できない地区館も見受けられる。	今後の方針	各地区公民館において積極的に見まわり等を行い、安全・安心を確保していく。

事業名		こどもゼミナール等各種事業参画	
概要	むつ市少年教育指導委員規則に基づき少年教育指導委員を配置し、青少年の健全な成長を図るため、少年教育に関する諮問に応じるほか、教育機関等が実施する少年教育事業に参画し、少年団体活動の基礎的倫理と専門的な技術指導や助言を行う。		
計画	○少年教育指導委員 ・青少年事業のプログラムで立案及び研修での技術指導及び助言を行う。 ・人数：11人 ・任期：令和元年7月1日～令和3年6月30日	実績・成果	○少年教育指導委員 ・会議：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・事業：青少年事業に参画
予算	予算総額 110,000 円 (内訳) 報 酬 72,000 円 旅 費 38,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 報 酬 0 円 旅 費 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議を中止としたため評価できない。		
課題	こどもゼミナール等青少年事業への参画・諮問・技術指導の範囲について、不明確な部分を有する。	今後の方針	参画・諮問・技術指導の実施範囲について、一部変更・廃止等も含めて検討する。

事業名		照明器具LED化事業	
概要	平成4年竣工後25年以上経過し、経年劣化している中央公民館の照明器具について経費削減と環境負荷の低減を目的としてLED化を図る。		
計画	対象場所 むつ市中央公民館 (講堂舞台照明設備は除く) 工事期間 令和2年8月～令和3年3月	実績・成果	市の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に予算を充てることとしたため実施せず。
予算	予算総額 27,082,000 円 (内訳) 工事請負費 27,082,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を次年度に繰越としたので評価出来ない。		
課題	講堂の照明に一部、水銀灯を使用している箇所もあるため、故障・不点灯となった場合の対処が困難になってきている。	今後の方針	令和3年度予算計上し事業実施予定。

【参考】○各中央館の利用状況

		令和2年度	令和元年度
中 央	回数	1,027回	1,429回
	人数	13,572人	37,254人
川 内	回数	66回	147回
	人数	1,102人	3,173人
大 畑	回数	521回	990回
	人数	5,777人	14,242人
脇野沢	回数	219回	556回
	人数	1,599人	4,682人

(2) 公民館事業の推進

事業名		市民大学及び各種講座開設事業																																																		
概要	自然、芸術、社会、歴史、生活、健康など学習ニーズに対応した講座を開設し、地域の方々の教養の向上、健康の増進、情操の涵養に資することで、心豊かな地域社会を目指す。																																																			
計画	<p>○公開講座：10回 (講演会形式で登録者以外でも受講可能)</p> <p>○ゼミナール：18ゼミ (実技を伴う講座で数回シリーズで行われる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むつ地区：9ゼミ ・川内地区：1ゼミ ・大畑地区：4ゼミ ・脇野沢地区：4ゼミ 	実績・成果	<p>○公開講座及びゼミナールの開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開講座</td> <td>5回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>聴講者数</td> <td>延べ267人</td> <td>延べ551人</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>62人</td> <td>81人</td> </tr> <tr> <td>ゼミナール</td> <td>8ゼミ</td> <td>20ゼミ</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>延べ257人</td> <td>延べ320人</td> </tr> <tr> <td>修了者数</td> <td>53人</td> <td>60人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉、小説、地域文学など <p>○ゼミナールの地区別開催状況の内訳 (上段：講座数 下段：登録者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">むつ地区</td> <td>8ゼミ</td> <td>11ゼミ</td> </tr> <tr> <td>69人</td> <td>144人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">川内地区</td> <td>1ゼミ</td> <td>1ゼミ</td> </tr> <tr> <td>8人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大畑地区</td> <td>1ゼミ</td> <td>4ゼミ</td> </tr> <tr> <td>39人</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">脇野沢地区</td> <td>4ゼミ</td> <td>4ゼミ</td> </tr> <tr> <td>51人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>14ゼミ</td> <td>20ゼミ</td> </tr> <tr> <td>139人</td> <td>273人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主なゼミ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理、銅版画、陶芸、歴史探訪など <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公開講座、ゼミナールともに9月からの実施となった。</p>		令和2年度	令和元年度	公開講座	5回	10回	聴講者数	延べ267人	延べ551人	登録者数	62人	81人	ゼミナール	8ゼミ	20ゼミ	登録者数	延べ257人	延べ320人	修了者数	53人	60人		令和2年度	令和元年度	むつ地区	8ゼミ	11ゼミ	69人	144人	川内地区	1ゼミ	1ゼミ	8人	10人	大畑地区	1ゼミ	4ゼミ	39人	71人	脇野沢地区	4ゼミ	4ゼミ	51人	48人	計	14ゼミ	20ゼミ	139人	273人
			令和2年度	令和元年度																																																
公開講座	5回	10回																																																		
聴講者数	延べ267人	延べ551人																																																		
登録者数	62人	81人																																																		
ゼミナール	8ゼミ	20ゼミ																																																		
登録者数	延べ257人	延べ320人																																																		
修了者数	53人	60人																																																		
	令和2年度	令和元年度																																																		
むつ地区	8ゼミ	11ゼミ																																																		
	69人	144人																																																		
川内地区	1ゼミ	1ゼミ																																																		
	8人	10人																																																		
大畑地区	1ゼミ	4ゼミ																																																		
	39人	71人																																																		
脇野沢地区	4ゼミ	4ゼミ																																																		
	51人	48人																																																		
計	14ゼミ	20ゼミ																																																		
	139人	273人																																																		
予算	<p>予算総額 1,066,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 598,000 円</p> <p>旅費 407,000 円</p> <p>需用費 52,000 円</p> <p>使用料 9,000 円</p>	決算	<p>決算総額 547,179 円</p> <p>(内訳) 報償費 342,000 円</p> <p>旅費 192,805 円</p> <p>需用費 12,374 円</p> <p>使用料 0 円</p>																																																	
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公開講座の開催回数を半分とし、ゼミナールは受講者人数を通常の半分程度としたが、コロナ禍においてでありながら、新規受講者も見受けられ、市民が望む学びの場を提供することができた。																																																			
課題	公開講座は誰でも参加できる集客スタイルとしているため、感染症予防対策を十分に講じていく必要がある。	今後の	感染症予防対策をしっかりと講じながら、公開講座、ゼミナールを開催し、引き続き、新規受講者の増加に重点を置き、魅力のある「むつ市民大学」を実施していく。																																																	

事業名		新田地域ふれあい学級開催	
概要	過疎地域における地域課題、生活課題への意識を高め、生活実践の学習活動をする。健康問題等への家庭教育を中心に学習する。		
計画	○開催期間：令和2年4月～令和3年3月 ○開催回数：10回 ○開催地区：関根地区（新田町内会） ○開催場所：中央公民館新田分館	実績・成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止により6月から実施となる。 ○6月10日 開級式 7人 ○7月15日 健康教室 6人 ○8月19日 ジオサイト視察（佐井方面） 9人 ○9月9日 防災教室 8人 ○10月21日 健康教室 8人 ○11月11日 料理教室（けいらんづくり） 9人 ○3月17日 閉級式 9人
予算	予算総額 26,000 円 （内訳） 報 償 費 11,000 円 旅 費 9,000 円 需 用 費 2,000 円 使 用 料 4,000 円	決算	決算総額 17,236 円 （内訳） 報 償 費 11,000 円 旅 費 6,236 円 需 用 費 0 円 使 用 料 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行っていた遠方への施設見学は行うことができなかったものの、日々の生活に直面する課題の解消に各種教室に地域の方が一体となって積極的に明るく楽しく参加して活動することができた。一方で地域の方の高齢化に伴い、毎月、教室を開催するのは難しいとの声があったことから、今後開催方法を検討していく必要がある。		
課題	参加する地域の方の高齢化に伴い、定期的に学習活動を開催することが難しくなっている。	今後の方針	今後は地域づくり講座として、参加する地域の方に負担がかからない実施方法を検討していく。

事業名		婦人学級開催	
概要	女性としての生き方を考え、より豊かな人間性を育み、地域課題、生活課題に向き合うため「自ら学ぶ」学習活動を展開する。		
計画	○むつ地区7学級 ・各学級毎に年間事業計画を立て、それに沿って活動するほか、他の学級等との合同学習会に参加し交流を深める。	実績・成果	○学級長会議 ・開催日：令和2年5月20日 参加者：4人 ・開催日：令和3年2月18日 参加者：4人 ○学級長研修会 ※中止 ○合同学習会 ※中止 ○郷土料理教室 ・開催日：令和2年10月14日 参加者：9人 ・開催日：令和2年10月16日 参加者：10人 ・開催日：令和2年10月21日 参加者：8名 ・開催日：令和2年10月28日 参加者：7名
予算	予算総額 173,000 円 （内訳） 報 償 費 96,000 円 旅 費 52,000 円 需 用 費 18,000 円 使 用 料 7,000 円	決算	決算総額 87,422 円 （内訳） 報 償 費 50,000 円 旅 費 27,739 円 需 用 費 9,683 円 使 用 料 0 円

評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学級長研修会、合同学習会といった事業は中止とし、7学級中2学級は学級単位での活動を休会とした。活動した学級でも例年通りの活動は困難ではあったものの、郷土料理教室については、これまで学級生以外の市民と一緒に進めていたが、今回は学級生のみで開催した。コロナ禍の中での料理教室の開催についてそれぞれの学級に料理方法等について助言等をして進めたことで今、できる限りの活動が行えたものとなった。		
課題	学級生が高齢化し減少状況にあるため、各学級のみでの学習が難しくなっているため、学級間の合同学習会を実施していく必要がある。	今後の方針	各婦人学級長への連絡、学級開催日の訪問、学習内容の相談、指導を行い支援をしていく。 学級間の合同学習会参加者が少しずつ増加しているため今後もより積極的な活動ができるよう支援をしていく。

事業名	子供向け各種講座開設		
概要	公民館を身近に親しんでもらい、様々な活動を通じて仲間づくりを行い、児童の健全育成を推進する。		
計画	<p>①こどもゼミナール</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象に、体験型の講座を提供する。 <p>②こども仕事体験館「GOOD JOB (グッジョブ) !!」(中央公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学4～6年生を対象に、職業への理解促進とむつ市における就業活動について考えるきっかけをつくる。 <p>③子どもお楽しみ会(中央公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児から小学生までを対象に大型紙芝居やアニメ映画の上映会を実施 <p>④その他・教室・講習会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくり体験 ねぶた囃子講習会 子どもねぶた合同運行 	実績・成果	<p>①こどもゼミナール(中央公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○科学実験講座 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和2年9月13日 参加者：15人 ○料理講座 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和2年10月4日 参加者：7人 ○パソコン講座 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和2年11月29日 令和2年12月6日 参加者：21人 ○お菓子づくり講座 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和2年12月19日 参加者：22人 ○ニュースポーツ講座 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和3年1月31日 参加者：9人 ○水彩画講座 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和3年2月13日 参加者：8人 <p>②こども仕事体験館「GOOD JOB (グッジョブ) !!」(中央公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和2年11月15日 参加者：35人 講師：5団体16名 <p>③子どもお楽しみ会(中央公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夏のお楽しみ会 <ul style="list-style-type: none"> 中止 ○冬のお楽しみ会 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和2年12月13日 参加者：90人 <p>④その他・教室・講習会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくり体験 中止 ねぶた囃子講習会 中止 子どもねぶた合同運行 中止

予 算	予算総額	697,000 円	決 算	決算総額	293,692 円
	(内訳) 報 償 費	433,000 円		(内訳) 報 償 費	172,091 円
	旅 費	91,000 円		旅 費	29,172 円
	需 用 費	142,000 円		需 用 費	78,437 円
	食 糧 費	31,000 円		食 糧 費	0 円
		円		原 材 料 費	13,992 円
		円			円
評 価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座数や定員の上限を設ける等の見直しを実施した中での開催であったが、1講座を除き募集定員を満たす応募があったことからニーズをとらえていたものと解する。一方で先着順や電話受付を軸とする方法では共働き世代等に対するアプローチに限界があるため、応募方法を含めて検討をしていく。				
課 題	子供向け講座は定員を超える申込があるなど人気があるため、よりニーズに合った講座を提供する必要がある。	今 後 の 方 針		募集方法として抽選形式を取り入れたり電子メールからの募集を受付するなど、より気軽に児童・保護者ともに参画しやすい内容や方式を検討し実践していく。	

事業名		分館長会議・分館地域づくり講座開催			
概 要	市民が共に集い、学び合う場を提供し、活気あふれる地域社会づくりの推進を目的とする。				
計 画	○分館長会議を年度当初に開催 ○分館地域づくり講座 (対象：16分館)	実 績 ・ 成 果	○中央公民館分館長会議 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面協議 案件 ・令和元年度公民館事業報告について ・令和2年度公民館事業計画について ○分館地域づくり講座 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
予 算	予算総額	182,000 円	決 算	決算額	0 円
	(内訳) 報 酬	104,000 円		(内訳) 報 酬	0 円
	報 償 費	12,000 円		報 償 費	0 円
	旅 費	64,000 円		旅 費	0 円
	需 用 費	2,000 円		需 用 費	0 円
評 価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、分館地域づくり講座は中止とした。分館長会議は書面協議としたため、お互い各分館とでの意見交換の場が持つことが出来なかった。				
課 題	各分館において地域づくり講座を積極的に実施していく必要がある。	今 後 の 方 針		新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じ、参加者の不安を取り除いたうえで実施していく。	

(3) 社会教育団体等の育成支援

事業名		各団体への指導・助言	
概要	<p>婦人教育分野、団体育成について社会教育指導員を配置し、直接指導及び学習相談に応じるなどして育成を行う。少年教育分野、団体育成については職員の人的援助等により助成、育成を行う。</p>		
計画	<p>○中央公民館に社会教育指導員(1名)を配置し、婦人教育の直接指導及び学習相談、並びに社会教育団体の育成を行う。</p>	実績・成果	<p>①むつ地区連合婦人会 ○第45回むつ地婦人体育まつり ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>②むつ市連合婦人会 ○第42回むつ市婦人芸能発表会 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>③下北連合婦人会事務局 ※令和3年3月31日解散</p> <p>④下北地区子ども会育成連合会事務局 ○第36回下北地区子ども会郷土芸能発表会 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>
予算	<p>予算総額 1,133,000 円</p> <p>(内訳) 負担金補助及び 交 付 金 1,133,000 円</p>	決算	<p>決算総額 1,084,110 円</p> <p>(内訳) 負担金補助及び 交 付 金 1,084,110 円</p>
評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、婦人芸能発表会、子ども会郷土芸能発表会等の大規模な事業は中止としたが、各地区婦人会及び子ども会においては、できることが限られる中ではあるものの活動は行われていた。</p>		
課題	<p>婦人団体は、単会の解散及び新規会員数の減少により高齢化が進んでいる。 子ども会は、児童・生徒の活動の多様化により会員数が減少している。また、それぞれの地区の子ども会活動を支援する育成者が減少している。</p>	今後の方針	<p>少子化や多様化に即した対応策を検討し、今後の継続を視野に入れた育成支援及び指導をしていく。</p>

事業名		公民館まつりの開催																																					
概要	各中央館（中央、川内、大畑、脇野沢）の利用団体等が制作した作品の展示や、日頃の活動の成果を実演を交えて紹介する等の発表する場を設け、各団体との交流と活動の更なる活性化を図るとともに、訪れた市民を通じて市全体の生涯学習の意識の高揚を図る。																																						
計画	<p>○公民館を利用しているサークル等が一堂に会し、日頃の活動を紹介・展示及び実演・体験指導を行い、市民の生涯学習（文化活動）の活性化を図る。 各中央館で開催する。</p>	実績・成果	<p>○中央公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和2年8月24日～8月30日 ・令和2年度は展示のみ実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>13団体</td> <td>25団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>327人</td> <td>831人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○川内公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>中止</td> <td>3団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>中止</td> <td>385人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○大畑公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>中止</td> <td>23団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>中止</td> <td>667人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○脇野沢公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>中止</td> <td>6団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>中止</td> <td>131人</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度	令和元年度	参加団体	13団体	25団体	来場者数	327人	831人		令和2年度	令和元年度	参加団体	中止	3団体	来場者数	中止	385人		令和2年度	令和元年度	参加団体	中止	23団体	来場者数	中止	667人		令和2年度	令和元年度	参加団体	中止	6団体	来場者数	中止	131人
				令和2年度	令和元年度																																		
参加団体	13団体	25団体																																					
来場者数	327人	831人																																					
	令和2年度	令和元年度																																					
参加団体	中止	3団体																																					
来場者数	中止	385人																																					
	令和2年度	令和元年度																																					
参加団体	中止	23団体																																					
来場者数	中止	667人																																					
	令和2年度	令和元年度																																					
参加団体	中止	6団体																																					
来場者数	中止	131人																																					
予算	<p>予算総額 381,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 210,000 円 消耗品費 115,000 円 役務費 56,000 円</p>	決算	<p>決算総額 20,314 円</p> <p>(内訳) 報償費 0 円 消耗品費 20,314 円 役務費 0 円</p>																																				
評価	各地区の現状や各種団体の状況を踏まえ、一部実施・中止の判断を行ったものである。コロナ禍の中では実施できるものが限られるが、日頃の成果の発表や各種団体の活動の活性化に向け、可能な範囲での実施について協議し、開催を検討していくことが求められる。																																						
課題	<p>参加団体・来館者が減少傾向にあり、作品数も少なくなっている。 コロナ禍の中、実施できる内容が限られている。</p>	今後の方針	<p>利用実績のある団体に対し積極的に参加を呼びかけ、新規来館者の開拓に努める。 むやみに中止するのではなく、今実施できるものを精査して可能な範囲で開催することで、次年度以降に繋げていく。</p>																																				

事業名		社会教育指導員配置事業																	
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため、婦人教育分野についての直接指導及び学習相談、並びに社会教育団体の育成を行う目的で、社会教育指導員を配置する。																		
計画	○中央公民館に社会教育指導員を1人配置する。 (むつ市社会指導員に関する規則第4条により指導員の委嘱期間は1年とする。ただし、再任を妨げない。)	実績・成果	○婦人教育担当：1人 ○任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日 ○婦人学級や婦人会等女性団体の事業並びに青少年教育事業について指導・支援し、各種教育の振興に効果的な役割を果たした。																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>1,872,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>1,730,000 円</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td>118,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>24,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	1,872,000 円	(内訳) 報酬	1,730,000 円	職員手当等	118,000 円	旅費	24,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>1,697,136 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>1,555,200 円</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td>117,936 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>24,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	1,697,136 円	(内訳) 報酬	1,555,200 円	職員手当等	117,936 円	旅費	24,000 円
予算総額	1,872,000 円																		
(内訳) 報酬	1,730,000 円																		
職員手当等	118,000 円																		
旅費	24,000 円																		
決算総額	1,697,136 円																		
(内訳) 報酬	1,555,200 円																		
職員手当等	117,936 円																		
旅費	24,000 円																		
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、婦人団体での活動できる範囲が制限される中で、できる限りの活動が行えるように適切な助言等を行っており、重要な役割を果たしていた。																		
課題	<p>婦人団体は、新たに入会する人が少なく、高齢化が進んでいるため、今後の継続を視野に入れた育成支援をしていく必要がある。</p> <p>子ども会は、少子化や児童・生徒の活動の多様化により、会員数が減少している。またそれぞれの地区の子ども会活動を支援する育成者が減少しているため、時代の変化に即した対応策を検討していく必要がある。</p>	今後の方針	婦人教育、青少年教育以外の団体、サークルにも指導、助言ができるようスキルアップを図っていく。																



公民館まつり展覧会の様子

(4) 生涯学習関連施設等との連携促進

事業名		下北美術展の開催	
概要	下北地域の芸術文化の振興を図るため、児童生徒及び高校・一般から書道、絵画、版画、写真を募集し、児童生徒の優秀作品、また、高校・一般の出品作品を展示及び表彰する。下北地方公民館連絡協議会（1市1町3村で構成）が実施する。		
計画	<p>○児童・生徒の部 開催 (絵画、版画、書道)</p> <p>○高校・一般の部 開催 (絵画、写真、書道)</p>	実績・成果	<p>○児童・生徒の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出品数：1,978点 ・入賞数：439点 ・展覧会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため展覧会を中止とする代わりにホームページ上で入賞作品を公開 <p>○高校・一般の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出品数：101点 ・入賞数：36点 ・展覧会 期間：令和2年10月2日～11日 場所：中央公民館
予算	<p>予算総額 375,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 25,000 円 負担金 350,000 円</p>	決算	<p>決算総額 375,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 25,000 円 負担金 350,000 円</p>
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童・生徒の部は展覧会を中止したが、入賞者全員に目録を進呈し、また、ホームページ上で入賞作品を公開するなど、多くの優れた作品を紹介することができたので、展覧会の目的は達成したと考えられる。今後は、ここ数年他町村で行われていない移動展が開催できるよう呼びかけを強化し、下北全域で芸術に触れていただく機会を増やしていく必要がある。		
課題	令和2年度は他町村での移動展を行うことができなかった。	今後の方針	<p>児童・生徒の部は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため展覧会を中止したが、ホームページ上で入賞作品を公開し、多くの優れた作品を紹介することができた。</p> <p>高校・一般の部は展覧会を開催したが、移動展は行うことができなかった。下北美術展は地域の芸術文化の振興に寄与している事業であるため、他町村においても移動展を開催してもらうよう呼びかけ、多くの地域の方々に芸術に触れていただく機会を増やしていく。</p>

事業名		市民大学一日体験入学	
概要	大学での講義・実技講習等の体験を通じ、キャンパスライフを肌身で感じることであり、学ぶ楽しさを実感してもらい生涯学習の一層の充実を図る。		
計画	○青森明の星短期大学一日体験入学	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
予算	予算額	0 円	決算 決算額 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止したため、評価出来ない。		
課題	一日体験入学のニーズはあるものの、市外での体験入学となるため、参加できる人数に限りがあり、遠距離の移動は負担が大きい。	今後の方針	これまでの一日体験入学の例にこだわらず、ちがうカタチでの「学びの場」を提供できるよう検討していく必要がある。

事業名		子どもネブタ合同運行支援	
概要	夏休み期間中、創造力と自主性、協調性を養うとともに豊かなふるさとの行事を意識させ郷土愛を育てるために実施されている子どもネブタの運行委員会への支援、事業協力を行う。		
計画	○田名部地区の子どもネブタ運行委員会の支援・合同運行の事業協力を行う。	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症が拡大し収束の見通しがたらず、行事の開催や個人の行動の自粛が求められている状況に鑑み、中止。
予算	予算額	0 円	決算 決算額 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止したことから評価出来ない。		
課題	子どもネブタ合同運行については、運行の中心となる子どもの数が減少し、それに伴い地域の子どもの支援する大人や、合同運行への参加台数も少なくなっている。	今後の方針	開催される場合は、人的援助を積極的に行い、事業継続へ協力する。

事業名		かきぞめ大会の開催	
概要	子供たちが筆に親しみ、日本の伝統美に対する心を養うことを目的に、小・中学生を対象としたかきぞめ大会を開催し、作品の展覧会及び優秀作品の表彰式を行う。		
計画	<p>①かきぞめ大会（4地区で実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○むつ会場（中央公民館） ○川内会場（川内公民館） ○大畑会場（大畑公民館） ○脇野沢会場（脇野沢地域交流センター） <p>②展覧会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館 <p>③表彰式</p>	実績・成果	<p>①かきぞめ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○むつ会場 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和3年1月9日 ・参加者：74人 （内訳）小学生52人 中学生22人 ○川内会場 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和3年1月6日 ・参加者：16人 （内訳）小学生15人 中学生1人 ○大畑会場 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和3年1月9日 ・参加者：16人 （内訳）小学生16人 中学生0人 ○脇野沢会場 <ul style="list-style-type: none"> ・実施せず <p>②展覧会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和3年1月16日～24日 ・入場者：427人 ・入賞数：71点 （特選12点、準特選23点、入選36点） <p>③表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
予算	<p>予算総額 162,000 円</p> <p>（内訳） 報償費 59,000 円</p> <p> 旅費 14,000 円</p> <p> 需用費 89,000 円</p>	決算	<p>決算総額 146,598 円</p> <p>（内訳） 報償費 56,000 円</p> <p> 旅費 14,110 円</p> <p> 需用費 76,488 円</p>
評価	かきぞめ大会の参加者は前年度より少なかったものの、日本の伝統であるかきぞめ大会を実施し、参加者へのニーズに応えることはできたと考えられる。今後も、学校と連携を図り、参加者を募集し、かきぞめ大会の継続を図る必要がある。		
課題	年々、かきぞめ大会参加者が減ってきている。	今後の方針	参加者は前年度よりも少なかったものの、減少率はさほど大きくはなかった。日本の伝統である「かきぞめ」を継続していくためにも、学校と連携を図り、参加者を募集していく。



かきぞめ大会の様子

(5) 視聴覚ライブラリーの活用

事業名	広報等によるPR強化		
概要	視聴覚教材の多様化に対応し、教材の整備について研究を行うほか、広報等によるPRを強化して活用を図る。		
計画	○全国視聴覚教育連盟からの情報収集	実績・成果	○視聴覚教材利用状況 ・16ミリフィルム 1本 延べ61人 ・DVD 107本 延べ107人
予算	予算総額 10,000 円 (内訳) 負担金 10,000 円	決算	決算総額 10,000 円 (内訳) 負担金 10,000 円
評価	来館して初めて公民館に視聴覚教材 (DVD) があることを知る市民の方も多かったので、視聴覚教材のPRを行う必要がある。		
課題	視聴覚教材の活用PRを強化する必要がある。	今後の方針	教材目録の整理を行い、視聴覚教材の活用を図っていく。 再生機器がなくなっているVHSビデオテープ等は著作権の関係もあるため、まずは自主製作したものについて他の媒体に移行できないか検討する。

■ 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）の重点項目の評価 ■

<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種の事業が中止または縮小となり、十分な活動の場を提供することが出来なかった。今後も続くと思われるコロナ禍においては、適切な感染症対策を講じたうえでの事業を計画し、できる限り市民の活動の場をつくるようにしていく必要がある。</p>
--

5 図書館

■ 重点項目の点検（令和2年度の具体的な取組状況） ■

（1）資料の収集・保存と活用

事業名	資料の購入																																					
概要	最新情報の把握と利用者のリクエストによる新刊図書の購入や基本的な図書の更新、話題性のある図書の購入、AV資料の更新・購入を図り利用者のニーズに応えていく。																																					
計画	<p>○小説、思想・哲学、歴史、社会科学（法律、経済、教育等）、自然科学（物理・化学、医学等）、技術（工学、機械、家政等）産業、芸術の全ての分野を網羅した選書を行い、年鑑、白書、統計等、年度更新が必要な資料について、利用者のニーズに応じた購入を定期的に行う。</p>	<p>実績・成果</p> <p>○購入数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般：1,674冊 ・児童：598冊 ・郷土：28冊 ・AV資料：41冊 <p>○蔵書状況（令和3年3月31日時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>前年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>121,624</td> <td>124,285</td> <td>▲ 2,661</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>42,016</td> <td>42,334</td> <td>▲ 318</td> </tr> <tr> <td>郷土</td> <td>20,566</td> <td>20,144</td> <td>▲ 422</td> </tr> <tr> <td>非図書</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>図書計</td> <td>184,230</td> <td>186,787</td> <td>▲ 2,557</td> </tr> <tr> <td>雑誌</td> <td>4,467</td> <td>4,361</td> <td>▲ 106</td> </tr> <tr> <td>AV</td> <td>4,728</td> <td>4,998</td> <td>▲ 270</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>193,425</td> <td>196,146</td> <td>▲ 2,721</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度	前年度	増減	一般	121,624	124,285	▲ 2,661	児童	42,016	42,334	▲ 318	郷土	20,566	20,144	▲ 422	非図書	24	24	0	図書計	184,230	186,787	▲ 2,557	雑誌	4,467	4,361	▲ 106	AV	4,728	4,998	▲ 270	合計	193,425	196,146	▲ 2,721
	令和2年度	前年度	増減																																			
一般	121,624	124,285	▲ 2,661																																			
児童	42,016	42,334	▲ 318																																			
郷土	20,566	20,144	▲ 422																																			
非図書	24	24	0																																			
図書計	184,230	186,787	▲ 2,557																																			
雑誌	4,467	4,361	▲ 106																																			
AV	4,728	4,998	▲ 270																																			
合計	193,425	196,146	▲ 2,721																																			
予算	<p>予算総額 4,800,000 円</p> <p>（内訳） 図書購入費 4,800,000 円</p>	<p>決算</p> <p>決算総額 4,914,534 円</p> <p>（内訳） 図書購入費 4,914,534 円</p>																																				
評価	<p>損傷や劣化が激しい児童書の更新、法改正や技術革新により現状にそぐわなくなっている社会科学・自然科学・技術分野の更新をすることが難しく、利用者のニーズに応えているとは言い切れない。</p>																																					
課題	<p>損傷や劣化が激しい児童書の更新、法改正や技術革新により現状にそぐわなくなっている社会科学・自然科学・技術分野の更新が必要。</p>	<p>今後の方針</p> <p>経過年数や各分野の蔵書構成を把握し、随時更新を行うとともに、市内大学生・短大生向けの専門書の蔵書についても拡充していく。</p>																																				



おはなし会の様子

事業名		寄贈資料受入	
概要	郷土資料の受け入れや、団体からの寄贈の申し出に対応するとともに、雑誌スポンサー制度を周知し、資料提供の機会を広げる。		
計画	<p>○寄贈資料の受領に関する取扱基準に基づき、受入処理を適切に行う。</p> <p>○雑誌スポンサー 雑誌の購入費用を負担してもらい、提供いただいた最新号のカバーにスポンサーの名称や広告を掲載する。</p>	実績・成果	<p>○寄贈の状況 1,621冊</p> <p>○団体寄贈 4団体 (図書、DAISY図書、車椅子)</p> <p>○雑誌スポンサー 3者(4誌)</p>
予算	予算額	0円	決算 決算額 0円
評価	寄贈資料の受け入れ時期が年度末に集中することから、登録、装備等に時間がかかり、利用者へすぐに提供できない場合がある。		
課題	市民からの寄贈の申し出の多くが、受領基準に達しない図書のためお断りしている。受け入れ不可の理由に納得のいかない方も少なからずいる。	今後の方針	受領基準の説明とともに、その根拠についても明確に説明を行う。

事業名		資料の貸出事業	
概要	図書館運営の基礎となる、資料の貸出をスムーズに行うとともに、利用者の利便性に配慮した特別貸出やリクエストの受付を行う。		
計画	<p>○蔵書点検や年末年始の休館中にも図書を読めるよう、特別貸出を実施する。</p> <p>○蔵書数の少ない分館の利用者へ本館と同様に図書館サービスが受けられるようリクエストサービスを受け付ける。</p>	実績・成果	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として、来館機会を少なくするため、貸出冊数を増やした。</p> <p>一人あたりの貸出冊数 図書 5冊 → 10冊 雑誌 3冊 → 6冊 AV 2点 → 4点 ※規則改正により、通常時の貸出上限に変更した(令和3年3月)</p> <p>○利用状況 別表のとおり</p> <p>○リクエスト受付件数 川内分館 5件 大畑分館 1件 脇野沢分館 20件</p>
予算	予算額	0円	決算 決算額 0円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、特別貸出を行った結果、臨時休館の為利用人数は減少したが貸出冊数は増となり利用者から好評であった。		
課題	貸出冊数上限を引き上げたこととの因果関係は、はっきりしていないが、資料の未返却件数が増加している。	今後の方針	未返却者への督促方法や紛失した場合の弁償方法を再検討する。

別表 図書館各館等の利用状況

		2年度	元年度	増減
本館	人数	35,652	43,532	▲ 7,880
	冊数	149,514	147,422	2,092
B M	人数	1,730	1,990	▲ 260
	冊数	5,489	6,715	▲ 1,226
川内	人数	103	20	83
	冊数	278	45	233
大畑	人数	347	437	▲ 90
	冊数	1,147	1,140	7
脇野沢	人数	213	242	▲ 29
	冊数	388	490	▲ 102

(2) 図書館サービス活動の充実

事業名		図書館協議会の開催	
概要	図書館協議会は、図書館法第14条の規定により、図書館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、図書館の行うサービスについて館長に意見を述べる。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・委員定数：10人以内 ・任期：2年 ○会議の開催と先進地視察の実施 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館協議会委員：9人 <ul style="list-style-type: none"> ・任期：令和元年5月1日～令和3年4月30日 ○協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回：令和2年8月（書面会議）
予算	予算総額 268,000 円 (内訳) 報酬 176,000 円 費用弁償 92,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 報酬 0 円 費用弁償 0 円
評価	書面会議で新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応を説明し、図書館の現状を理解していただいた。年度末には文書で事業推進の経過説明や各種報告を行い、委員からの理解を得ている。		
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面会議の実施となり、当初計画していた県内図書館先進事例視察を行えなかった。	今後の方針	定期的な開催をし、様々な知見からの助言をいただく機会を確保する。また、開催が困難な場合の書面会議の円滑実施にも努める。

事業名		図書館奉仕員配置事業	
概要	図書館奉仕員の有する技能・技術を市民対象の講習会等へ活用し、図書活動及び図書サービスの充実を図るため継続した任用を行う。また、図書館業務の中で最も重要であるレファレンス（調査相談業務）への対応を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館奉仕員を配置し、窓口サービスの充実を図る。 ○レファレンス（調査相談業務）への対応 ○図書館奉仕員を講師とした一般向け講習会を実施する。 （ブックコート講習、修理講習） ○大人向け英語絵本読書会の実施 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館奉仕員（会計年度任用職員） 配置人数：12人 ○レファレンス件数：50件 ○ブックコート講習会・修理講習会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施せず。 ○大人の英語絵本読書会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施せず。
予算	予算総額 21,873,000 円 （内訳） 報酬 20,082,000 円 職員手当 1,416,000 円 旅費 375,000 円	決算	決算総額 22,100,398 円 （内訳） 報酬 20,310,766 円 職員手当 1,415,232 円 旅費 374,400 円 <small>※決算総額のうち18,000,000円は、電源立地地域対策交付金</small>
評価	カウンター業務は熟練した奉仕員が揃っているため、利用者の要求に迅速に対応できている。		
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、窓口サービス中は長時間マスク着用となっており、体調不良を感じる奉仕員が増えてきている。	今後の方針	休憩時間を確保するため、ローテーションを見直す他、マスクを外して休憩できるような環境整備も整える。

事業名		移動図書館車の運行業務委託	
概要	本館から離れた遠隔地に居住する市民へ移動図書館車を運行し、図書館資料の利用拡大を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校、幼稚園、保育所、公民館、集会所等18ステーションに5月から12月まで毎週火～金曜日、年間107日運行を行う。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○運行期間 令和2年5月26日～11月17日(85日間) ※運行休止 5月12日～5月21日 感染症防止 11月18日～12月3日 車両故障 ○利用人数：1,730人 ○貸出冊数：5,489冊
予算	予算総額 886,000 円 （内訳） 委託料 886,000 円	決算	決算総額 823,864 円 （内訳） 委託料 823,864 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館と車両故障の為、運行期間が減となり、移動図書館利用者のニーズに応えることができなかった。		
課題	利用者の多くが児童であり、一般利用者への周知不足がある。	今後の方針	令和3年度の移動図書館車更新に合わせ、広報活動及び新規事業により、新たな利用者獲得に努める。

事業名		相互貸借事業																							
概要	むつ市立図書館で所蔵のない資料を全国の図書館から借用して利用者へ貸出することで利用者のニーズに応える。																								
計画	○利用者のリクエストに応じ、県内外の図書館の所蔵を調査し、借用依頼する。 ○他の図書館からの借用依頼にも対応する。	実績・成果	○相互貸借件数																						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">借受</td> <td>703点</td> <td>683点</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>(県内:621点)</td> <td>(県内:598点)</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>(県外:82点)</td> <td>(県外:85点)</td> <td>▲3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">貸出</td> <td>247点</td> <td>344点</td> <td>▲97</td> </tr> <tr> <td>(県内:220点)</td> <td>(県内:131点)</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>(県外:27点)</td> <td>(県外:213点)</td> <td>▲189</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度	令和元年度	増減	借受	703点	683点	20	(県内:621点)	(県内:598点)	23	(県外:82点)	(県外:85点)	▲3	貸出	247点	344点	▲97	(県内:220点)	(県内:131点)	89	(県外:27点)
	令和2年度	令和元年度	増減																						
借受	703点	683点	20																						
	(県内:621点)	(県内:598点)	23																						
	(県外:82点)	(県外:85点)	▲3																						
貸出	247点	344点	▲97																						
	(県内:220点)	(県内:131点)	89																						
	(県外:27点)	(県外:213点)	▲189																						
予算	予算総額 150,000 円 (内訳) 手数料 150,000 円	決算	決算総額 123,545 円 (内訳) 手数料 123,545 円																						
評価	リクエストサービス(予約含む)の約2割強を相互貸借で対応しており、他館と連携しながらリクエスト申込者のニーズに応えている。																								
課題	新刊の場合、多くの図書館で相互貸借の貸出不可期間を数カ月設けていたり、貸出期間が短いため、利用者のリクエストに即応できなかったり、不便を強いている。	今後の方針	新刊のリクエストは相互貸借せず、購入対応するために、図書購入費の予算確保に努める。																						

事業名		各種企画事業	
概要	各種事業を開催することで、図書館に親しんでもらう機会を提供し、読書意欲の向上と来館者の増加を目指す。		
計画	○図書館展示ホールやあすなろホールを使用し、コンサートの開催やAV資料を活用した児童及び一般向け映画の上映会を開催するほか、川島雄三監督映画上映会も実施する。 ○貸出回数によってポイントがたまるスタンプラリーや、図書の無料配布を主体としたブックフェスティバル等を開催する。	実績・成果	○日曜シネマ(毎月第2日曜日) 4回上映 参加者:62人 ※4~11月 感染症拡大防止のため中止 ○映画監督川島雄三上映会 中止 ○図書館ギャラリーコンサート 中止 ○スタンプラリー ・夏休み 参加者:798人 令和2年7月18日~8月28日 ・読書週間 参加者:733人 令和2年10月25日~11月30日 ○ぬいぐるみお泊まり会 申込者:38人 ・令和2年10月15日~10月17日 ○ブックフェスティバル 中止 ○雑誌付録抽選会 参加者:537人 ・令和3年1月29日~2月15日
	予算		予算総額 167,000 円 (内訳) 消耗品費 50,000 円 映像資料上映許諾使用料 117,000 円

評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上半期の事業を中心に中止の事業が多かった。実施した事業のいくつかは参加者が前年度より増となっており、参加者からも好評であった。		
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止した事業が多くあった。アフターコロナを見据えた企画実施方法を検討する必要がある。	今後の方針	日々の感染症対策の他、不特定多数が集まるイベントにおける対策を検討・実施し、必要に応じて感染症対策用品の購入により企画運営の円滑化に努める。

事業名		詩歌コンクール事業													
概要	詩、短歌、俳句、川柳の4部門において、創作に対する関心を高め、読書と創作のつながりを設けることと、読書意欲向上のため詩歌コンクールを実施する。														
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○応募資格 むつ市在住及びむつ市通勤・通学者 ○応募方法 <ul style="list-style-type: none"> ・作品は未発表のオリジナル作品 ・各部門とも、小学生・中学生・高校生・一般ごとに審査する 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ市詩歌コンクール <ul style="list-style-type: none"> ・募集期間 令和2年8月1日～9月10日 ・表彰式 中止 ・作品展示 令和2年11月20日～12月6日 ・応募作品数：5,598点 ・応募者数：3,226人 ・入賞者数：259人 												
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>219,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>172,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>47,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	219,000 円	(内訳) 報償費	172,000 円	消耗品費	47,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>189,387 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>154,500 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>34,887 円</td> </tr> </table>	決算総額	189,387 円	(内訳) 報償費	154,500 円	消耗品費	34,887 円
予算総額	219,000 円														
(内訳) 報償費	172,000 円														
消耗品費	47,000 円														
決算総額	189,387 円														
(内訳) 報償費	154,500 円														
消耗品費	34,887 円														
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰式は中止した。応募作品数、応募者数とも昨年度より増となり、創作活動に積極的な利用者のニーズに応えることができた。														
課題	<p>作品の中には、剽窃や盗作と見られる作品もあり、応募者への周知や倫理観の醸成が必要である。</p> <p>また、応募作品のデータ化に多くの業務時間が割かれている。</p>	今後の方針	応募作品のデータ化については、AI-OCRの活用を検討し、業務の効率化を目指す。												

※AI-OCR…手書きの書類の読み取りを行い、データ化するOCRへAI技術を活用すること

事業名		集会施設の貸出事業													
概要	市民の身近な公共施設として、社会教育活動及び生涯学習の推進及び支援をする。														
計画	○市民の社会教育及び生涯学習の活動場所を提供するため集会施設の貸出を行う。	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○集会施設の利用状況 <table border="0"> <tr> <td>・集会室</td> <td>: 116回</td> <td>1,229人</td> </tr> <tr> <td>・会議室</td> <td>: 147回</td> <td>969人</td> </tr> <tr> <td>・視聴覚ホール</td> <td>: 23回</td> <td>425人</td> </tr> <tr> <td>・展示ホール</td> <td>: 5回</td> <td>103人</td> </tr> </table> 	・集会室	: 116回	1,229人	・会議室	: 147回	969人	・視聴覚ホール	: 23回	425人	・展示ホール	: 5回	103人
・集会室	: 116回	1,229人													
・会議室	: 147回	969人													
・視聴覚ホール	: 23回	425人													
・展示ホール	: 5回	103人													
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円												
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、貸出を制限したことから、利用者数は減となった。照明器具の不具合は解消することができず、利用者のニーズに応えることができなかった。														
課題	集会施設や備品の劣化、展示ホール照明の不具合が多く、利用者にも不自由を強めている。	今後の方針	今後3年間で予定されている空調工事に合わせ、必要箇所の修繕を計画していく。												

(3) 子どもの読書活動の推進

事業名		子育て・子ども向け事業	
概要	季節に関連した図書やテーマ展示を行い、子どもたちの読書活動の意欲を高める。図書館見学や映画上映会、工作教室を企画し、図書館に親しむ機会を増やし、読書推進へつなげる。		
計画	<p>○児童の特別展示・季節の展示</p> <p>○以下の事業については新型コロナウイルス感染症拡大状況により開催を判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども見学ツアー ・夏休み子ども映画劇場 ・冬休み子ども映画劇場 ・夏休み工作教室 ・冬休み親子工作教室 ・乳幼児健診への協力 (10ヶ月児・3歳児) 	実績・成果	<p>○特別展示:22回・季節の展示:19回</p> <p>○以下の事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども見学ツアー ・夏休み子ども映画劇場 ・冬休み子ども映画劇場 ・夏休み工作教室 ・冬休み親子工作教室 ・乳幼児健診への協力
予算	<p>予算総額 15,000 円</p> <p>(内訳) 消耗品費 15,000 円</p>	決算	<p>決算額 0 円</p> <p>(内訳) 消耗品費 0 円</p>
評価	児童の特別展示・季節の展示は貸し出しも多く利用者のニーズに応じている。その他の事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止したため評価できない。		
課題	<p>幼児のソーシャルディスタンスの確保が困難なため、会場・実施方法を含め対策を検討する必要がある。</p>	今後の方針	<p>県のイベント開催方針に沿いながら、事業の運営を実情と合うように柔軟に対応し、感染リスク軽減に努める。</p>



職場見学の様子

事業名		おはなし会等の開催	
概要	子ども向けの読み聞かせや紙芝居の上演を行うおはなし会を毎週開催し、季節ごとに大規模なおはなし会を開催して子どもたちの読書推進を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○毎週土曜日「おはなし会」 ○季節の「おはなし会」 <ul style="list-style-type: none"> ・はるのひのおはなし会 ・あきのひのおはなし会 ・ふゆのひのおはなし会 ○「こわいおはなし会」 ○国際交流員による英語の読み聞かせ（ムチュリーディング） 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○午後2時～2時30分 49回：延べ230人 ○季節の「おはなし会」 <ul style="list-style-type: none"> ・あきのひのおはなし会 令和2年10月10日：31人 ・ふゆのひのおはなし会 令和2年12月12日：51人 ※はるのひのおはなし会は中止 ○「こわいおはなし会」中止 ○ムチュリーディング 毎月第1水曜日 8回：延べ70人
予算	予算総額 12,000 円 （内訳） 消耗品費 12,000 円	決算	決算総額 5,102 円 （内訳） 消耗品費 5,102 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上半期の事業は中止したが、再開後の事業のいくつかは参加者が前年度より増となっており、参加者からも好評であった。		
課題	事業の安定的な運営も必要だが、マンネリ化している部分もある。	今後の方針	事業のマンネリ化を防ぐため情報提供をしつつ、新たな企画を取り入れ、参加者の増加を目指す。

事業名		職場体験・見学の受け入れ	
概要	学校からの依頼により館内見学や利用体験、調べ学習の場として活用いただくとともに、職場体験学習の受け入れを積極的に行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○市内及び郡内の学校及び幼稚園から図書館見学・職場体験学習を連絡調整し受け入れる。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○施設見学 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校（5校）：111人 ・養護学校（1校）：4人 ○調べ学習 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校（1校）：5人 ○職場体験（インターンシップ） <ul style="list-style-type: none"> ・中学校（1校）：4人 ・短期大学（1校）：1人
	予算額 0 円		決算額 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設見学の受け入れができない期間があり、学校関係者のニーズに全て応えることはできなかった。		
課題	職場体験の時期が重なり、一部の学校しか受付できない。新型コロナウイルス感染症の影響により、県外大学等からのインターンシップの受け入れに制限がある。	今後の方針	県外大学等からの職場体験は、対策及び健康観察を行った上で、受け入れが可能となるよう関係部署と検討する。

■ 図書館の重点項目の評価 ■

図書館での読書環境が快適であるよう施設の修理・改修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、未着手の部分が残った。

蔵書については予算内で常に新鮮で適切な資料等の収集・整備を行っており、図書館機能の充実に繋がっているが、新型コロナウイルス感染症により中止した事業も多く、今後は感染症対策を念頭に置いて事業を進めて行く必要がある。

◇点検・評価対象一覧

重点項目	重点項目の内容	具体的な事業	頁		
1 安全・安心で夢を育む教育環境の整備	学校統合による通学手段の確保 学校改築等施設・設備の整備 学校教材等の充実 まさかり高校、下北Projectの推進	スクールバス運行管理事業	11		
		スクールバス購入事業	12		
		新入学児童用防犯ブザー購入事業	12		
		まさかり高校医学部進学・特進コース事業	13		
		下北Project（学びのイノベーション）事業	13		
		I C Tを活用した教育研究事業	14		
		その他小中学校の施設・設備の整備事業（1）	15		
		その他小中学校の施設・設備の整備事業（2）	15		
		2 教職員の適正・適切な配置	学校現場の実情の的確な把握 異動方針及び要項等の適正な運用	県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理	16
		3 通学区域制度の適切な運用及び再編	通学区域制度の運用の適切なあり方に係る調査研究・検討 通学区域の再編に係る調査研究・検討	むつ市通学区域審議会の設置	16
		4 学校規模の適正化に係る研究・検討	複式学級の解消、その他の学校規模の適正化に係る調査研究・検討	学校規模適正化のための地域説明会等の開催	17
		5 就学困難な児童生徒等に係る就学援助	就学困難な児童生徒に係る就学援助事業の推進 特別支援教育就学奨励事業の推進	要保護児童生徒援助事業	18
準要保護児童生徒援助事業	18				
医療的ケア児童生徒就学支援事業	19				
特別支援教育就学奨励事業	19				
6 コミュニティ・スクール制度の推進	学校運営協議会の導入・推進	学校運営協議会の設置	20		
7 奨学金制度の充実	奨学金制度に係る住民への啓発 奨学金事業の推進 奨学金制度の充実化に係る調査研究・検討	奨学金貸付事業	20		
		次代を担うブラチナ人材育成プロジェクト（未来人材育成奨学金プロジェクト）	21		
8 学校保健の充実	学校保健会及び関係団体と相互協力を図る 学校保健事業に係る学校施設整備の安全点検・安全管理の徹底	健康診断委託事業	21		
		学校医委託事業	22		
		学校災害共済給付事業	23		
		学校保健会補助事業	23		
		学校災害入院補償事業	25		
9 学校給食の充実	学校給食施設の充実 学校給食衛生管理の徹底 児童・生徒の食生活の改善と体位向上	学校給食管理事業	25		
		学校給食設備整備事業	26		
		学校給食運搬用自動車更新事業	26		
		（仮称）防災食育センター建設事業	27		
2	1 生涯学習の推進	生涯学習・社会教育諸計画の立案・調査・研究	28		
		社会教育事業に関する相談・指導体制の充実	29		
		各種講演・講習会等の開催	29		
			29		
			30		
	2 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進	家庭教育推進の支援 学校と地域協働による教育活動の推進	放課後子ども教室推進事業	31	
	3 社会教育施設の機能充実	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営 むつ市下北自然の家の管理・運営	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	32	
			むつ市下北自然の家の管理・運営	33	
	4 芸術・文化活動の奨励と振興	芸術鑑賞会の提供 文化活動の推進と関連団体の育成	むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示	34	
			東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室	35	
			むつ市文化団体等支援事業	35	
	5 郷土の文化遺産の保護・保存と活用	文化財の保存と活用 文化財の調査・研究 天然記念物の保護	文化財保護審議会の設置	36	
			民俗芸能の保存と伝承活動の支援	36	
			文化財収蔵庫の管理・運営	37	
北の防人大湊式番館の活用とガイド活動支援			38		
埋蔵文化財発掘調査事業			39		
文化財・自然調査事業			40		
文化財保護関連事業、天然記念物保護関連事業			39		
重要文化財保存修理事業（二枚橋2遺跡出土品）			41		
重要文化財保存修理事業（旧大湊水源地下水道施設）	42				
3	1 小中一貫教育の充実	小中一貫教育ブロック研究の推進	43		
		9年間の教育課程の研究推進	44		
		小中一貫教育非常勤講師の配置と活用	44		
	2 質の高い教育課程の創造	指導の方針と重点の周知徹底 幼稚園・保育園・小学校との情報交換	指導の方針と重点に関する指導・支援事業	45	
			幼稚園・保育園と小学校の情報交換	45	
	3 学力向上対策の充実	学力調査・知能検査の実施 教員の指導力向上 思考力・判断力・表現力等の向上	学力調査・知能検査実施事業	46	
			活用力育成講座等の開催	46	
			学力向上関係研究大会参加	47	
			デジタル教科書購入	47	
		新聞を活用した学習への支援事業	48		

	重点項目	重点項目の内容	具体的な事業	頁	
3	4 生徒指導の充実と関係機関との連携強化	学校環境適応感尺度「アセス」の実施	生徒指導検査実施	49	
		むつ市いじめ防止基本方針に基づく対策の点検及び評価 いじめ防止に向けた児童生徒の主体的活動	いじめ問題対策委員会開催 むつ市いじめ防止宣言フォーラム開催	49 50	
	5 特別支援教育体制の充実	スクールサポーターの配置と活用	スクールサポーター配置事業	50	
		教育支援・就学相談の充実 特別支援教育推進委員会の充実	就学事務説明会・就学相談研修会開催 特別支援教育推進委員会開催	51 51	
	6 教育相談活動の充実	むつ市教育相談室の充実	むつ市教育相談室開設	52	
			自立支援相談員配置事業 適応指導教室開設	53 54	
	7 国際化に対応する教育と、郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進	外国語指導助手（ALT）の配置と活用 国際交流事業の推進 地域理解の促進	外国語指導助手（ALT）派遣事業	54	
			むつ市ジュニア大使派遣事業	55	
			中華民国陽明国民中学との友好交流事業	55	
			ジオパーク体験活動推進事業	56	
8 教育研修センター講座等の充実	教職員研修講座の充実	教職員研修講座開設	57		
		センター講座との連携強化	教育研修センター講座等連携	58	
9 弘前大学との連携強化	学生との交流 健康課題の解決	ラボ・パス実験教室	59		
		「健康の未来」を変えるプロジェクト授業	59		
		児童・生徒の夢はぐくむ体験の充実	むつ市子ども夢育成基金 むつ市こども議会	60 60	
10 キャリア教育の充実	児童・生徒の夢はぐくむ体験の充実 ゲストティーチャーによる講演会の開催	むつ市中学生夢はぐくむ体験入学	61		
		関係機関との連携（理科教室、海洋教室）	61		
		キャリア教育推進事業	62		
		中央館・地区館の管理運営体制の確立 公民館運営審議委員・少年教育指導委員の事業参画 公民館施設・設備の整備	地区館長会議の開催 こどもゼミナール等各種事業参画	63 63	
4	1 公民館の適正管理と運営の充実	照明器具LED化事業	64		
		市民大学事業の充実 成人教育事業の充実 婦人教育事業の充実 青少年教育事業の充実 分館活動の充実	市民大学及び各種講座開設事業 新田地域ふれあい学級開催 婦人学級開催 子供向け各種講座開設 分館長会議・分館地域づくり講座開催	65 66 66 67 68	
	2 公民館事業の推進	社会教育団体の自主性・自立性の確立 サークル活動の推進 社会教育指導員の有効活用	各団体への指導・助言	69	
			公民館まつりの開催 社会教育指導員配置事業	70 71	
	3 社会教育団体等の育成支援	下北地方公民館連絡協議会との連携 大学等高等教育機関との連携 社会教育団体との連携	下北美術展の開催	72	
			市民大学一日体験入学 子どもネプタ合同運行支援	73 73	
	4 生涯学習関連施設等との連携促進	視聴覚機器・教材の利用促進	かきぞめ大会の開催	74	
			広報等によるPR強化	75	
	5	1 資料の収集・保存と活用	利用者のニーズに応える資料の収集	資料の購入	76
			地域資料の充実 資料の利用促進	寄贈資料受入 資料の貸出事業	77 77
図書館協議会の設置 図書館奉仕員の配置と活用 移動図書館車の効率的運行 関連機関との連携促進 図書館の利用促進			図書館協議会の開催 図書館奉仕員配置事業 移動図書館車の運行業務委託 相互貸借事業 各種企画事業 詩歌コンクール事業 集会施設の貸出事業	78 79 79 80 80 81 81	
2 図書館サービス活動の充実		子どもの読書活動推進事業の展開 関係機関との連携促進 学校への支援	子育て・子ども向け事業	82	
			おはなし会等の開催	83	
			職場体験・見学の受け入れ	83	



令和3年度
むつ市教育委員会の事務の点検及び
評価に関する報告書
－ 令和2年度の実績 －

編 集 むつ市教育委員会総務課
発 行 むつ市教育委員会
発行年月 令和3年9月